

# 18歳意識調査 「第35回 - コロナ禍とストレス -」詳細版

---

日本財団 2021年3月25日

# 目次

調査概要	3
コロナ禍による閉塞感／周囲の人	5
コロナ禍による閉塞感／自分自身	6
どのようなことに閉塞感を感じているか	7
コロナ禍で体験したこと	8
コロナ禍で感じたストレス	9
コロナ禍に関連した良い影響	17
1か月以内に経験したこと	25
ストレスを感じたときの対処法	26
自身の生活で関係する人	27
ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け	28
趣味	46
この1年間で増えたもの	47
この1年間で減ったもの	48
若者の自殺に対する対策	49

# 調査概要「18歳意識調査」 - コロナ禍とストレス -

**調査対象** 全国の17歳～19歳男女

**回答数** 1000  
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

**調査除外** 下記の関係者は調査から除外  
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/  
情報提供サービス・調査業/広告業

**実施期間** 2021年2月12日（金）～2月16日（火）

**調査手法** インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

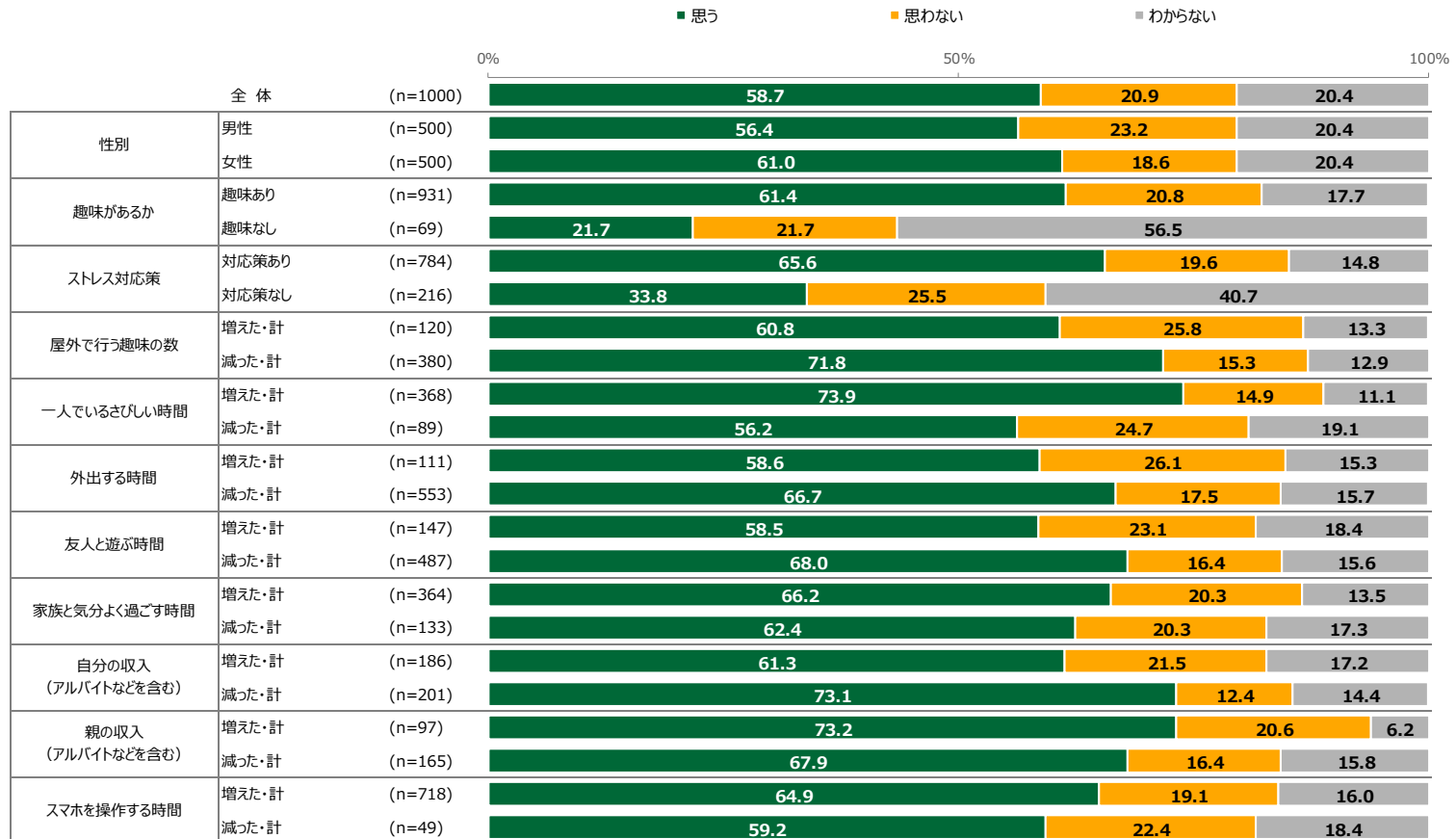
# 詳細

---

# コロナ禍による閉塞感／周囲の人

- 58.7%の人が周りの人が閉塞感を感じていると思うと回答。

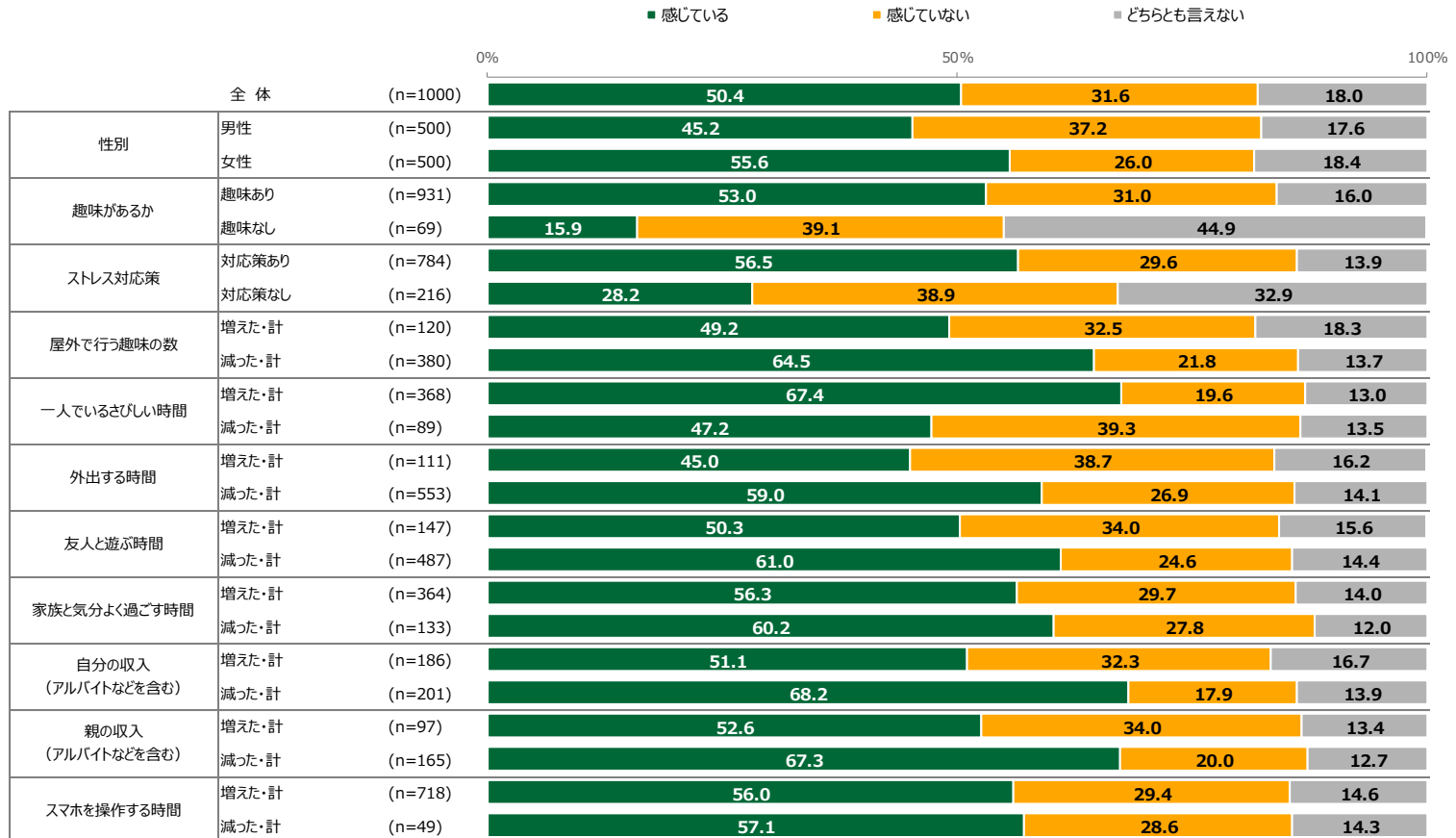
Q コロナ禍で社会の閉塞感が増していると言われます。あなたは、周りの人が閉塞感を感じていると思いますか。



# コロナ禍による閉塞感／自分自身

- 自分自身が閉塞感を感じていると回答したのは50.4%。
- 男性が45.2%なのに対し、女性は55.6%と、女性の方が閉塞感を感じている割合が高い。
- 「外出する時間が減った」層や「友人と遊ぶ時間が減った」層は、それらの時間が増えた層に比べて閉塞感を感じている割合が高い。また、「自分や親の収入が減った」層も閉塞感を感じている割合が高い。

Q あなた自身は、コロナ禍で閉塞感を感じていますか。



# どのようなことに閉塞感を感じているか

- 閉塞感を感じている点については、「なかなか外に出られず、好きなところに行けないから。」「好きな時に好きなところに出掛けれられない。」など、自由に外出できないということや、「人との関わりが減った」「友人と会う機会が少ないこと。」など、人と会う機会が少なくなってしまうことが多く挙がった。これまで当たり前できていたことができなくなってしまったことに閉塞感を感じている様子。ほか、「友達たちと会えない中で、不安が募っていく」「学校の授業が間に合うか」など対面の授業が受けられないことで感じる不安や、「就職出来るかどうかについて」「将来どうなっていくのかが不安ということ」など、就職や将来に対する不安の声が寄せられた。

Q 具体的に、どのようなことに閉塞感を感じますか。（自由回答抜粋・原文のまま掲載）

## 自由に外出できない

- なかなか外に出られず、好きなところに行けないから。（女性）
- 遠出が出来ないこと（男性）
- 家から出られない（女性）
- 家にいることが多くなった（男性）
- 外に出れずにいること。（女性）
- 外に遊びに行けない（女性）
- 気軽に遊びに行けない（男性）
- 外出自粛（男性）
- 好きな時に好きなところに出掛けれられない。（女性）
- 行きたいところに簡単に行けなくなったこと。（女性）
- 思うように外に出られず、今まで生きがいにしていた趣味ができなくなった。（女性）
- 自由に行動ができず、学校にも行けないこと（女性）
- 自由に遊びに行けない（女性）
- 遊びに行けない（女性）

## 人と会えない

- 外出の自粛と人との交流の減少（男性）
- 学校がオンライン授業になり自宅に閉じこもってばかりで友人にも会えないことで閉塞感を感じる。（女性）
- 人との関わりが減った（男性）
- 人に会えない（女性）
- 友人と会う機会が少ないこと。（女性）
- 友人と会えない。（女性）
- 遠く離れている家族になかなか会えないこと。（女性）
- 友達と気軽に遊べないこと。（男性）
- 友達と遊びに行けない（女性）
- 友達と話すことも会うことも明らかに減り、心が閉じた感じがする。（女性）

## 対面の授業が受けられない

- オンライン授業（女性）
- 学校にいけない（女性）
- 学校にいけないことで、授業が全てオンラインになり、友達たちと会えない中で、不安が募っていくこと。（女性）
- 学校の授業が間に合うか（男性）
- 大学で対面での講義がいつ再開されるかわからないこと（男性）
- 大学のキャンパスに行けず、ずっと家に籠ってパソコンをみて授業うけたこと 友達と遊べず休日も家にいなければいけないこと（女性）
- 大学の授業のほとんどがオンラインになったことで外出する機会が減ったから（男性）

## 就職できるか・将来への不安

- 就職が上手くいかないと思うから。大学も始まっていないから。（男性）
- 就職出来るかどうかについて（男性）
- 自分のしたい、なりたいものがコロナで厳しい環境なので、将来が少し不安だと感じることもある（女性）
- 将来どうなっていくのかが不安ということ（男性）
- 将来の不安（男性）

## イベントなどの規制・中止

- イベントごとの規制や自由の制限（女性）
- コロナが広まる以前は好きなアーティストのコンサートだったりイベントに行くのを生きがいにしていたから（女性）
- コロナによって様々なイベントが中止されていること。（男性）
- 好きなところに行けないこと、イベントとかも軒並み縮小すること（女性）

## アルバイトが見つからない・減った

- アルバイトがなかなか見つからなく学費が払えない（女性）
- バイトが見つかりにくかったり、大学の授業がオンラインなのかもまだ分からないこと（女性）
- バイトの時間帯が減っていて労働時間が7時間半から5時間に減った（男性）

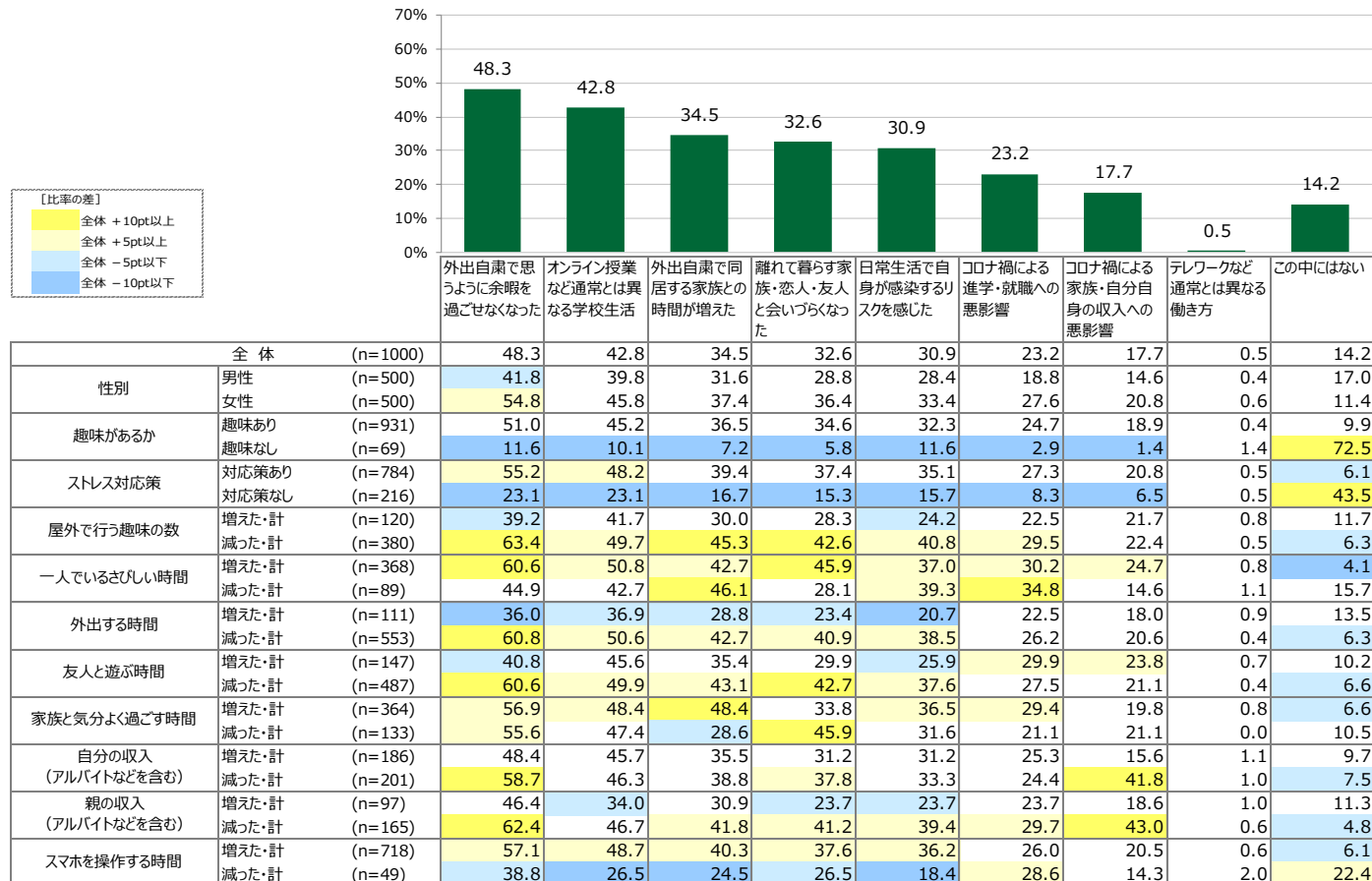
【どのようなことに閉塞感を感じているか「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)

# コロナ禍で体験したこと

- コロナ禍で体験したことは「外出自粛で思うように余暇を過ごせなくなった」（48.3%）が最多。ほか、「オンライン授業など通常とは異なる学校生活」（42.8%）、「外出自粛で同居する家族との時間が増えた」（34.5%）が上位に挙がる。

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、体験したことを全て選択してください。（複数回答）



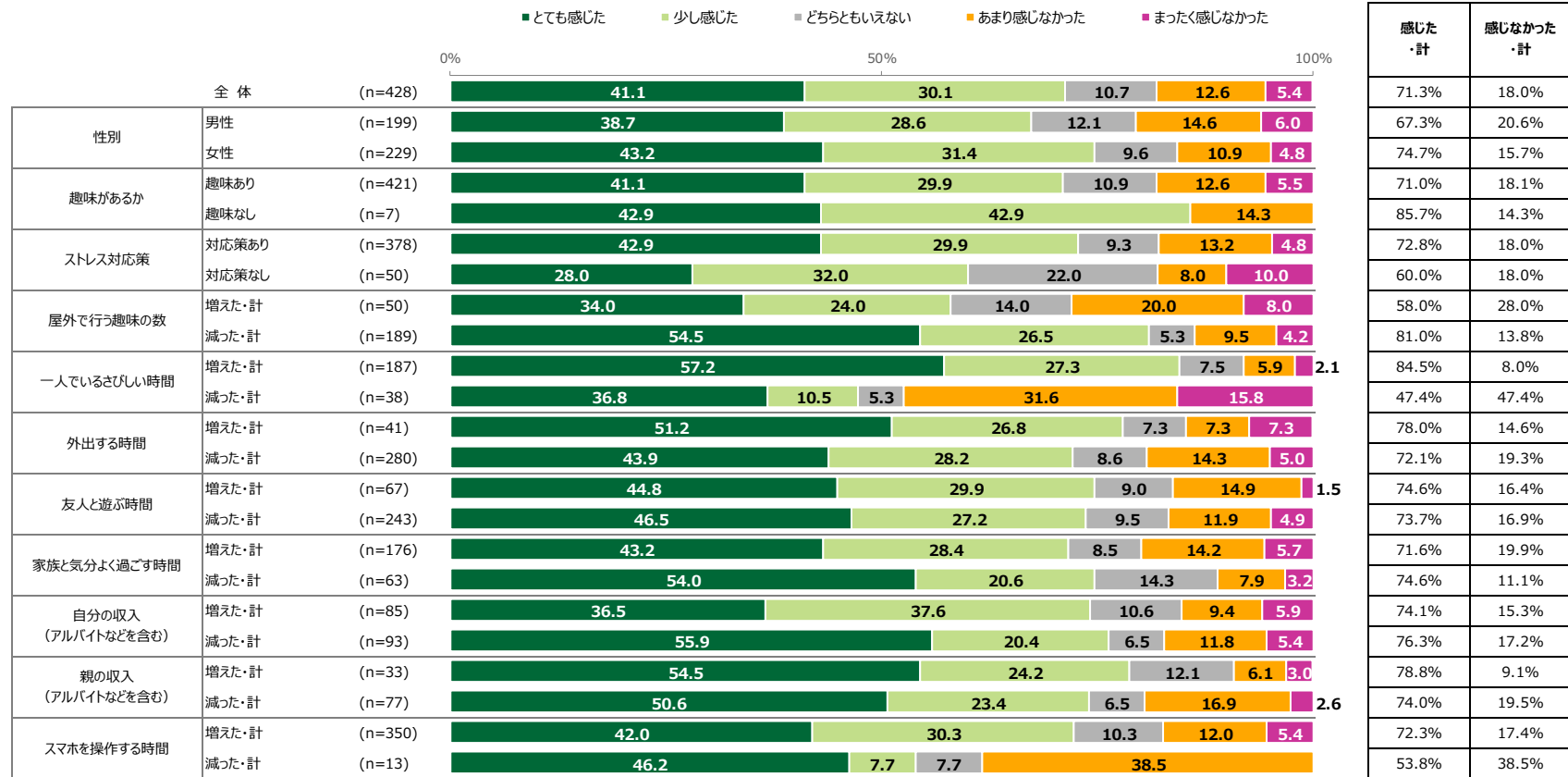


# コロナ禍で感じたストレス 1/8

- 「オンライン授業など通常とは異なる学校生活」については、71.3%の人がストレスを感じたと回答。「とても感じた」は4割以上を占める。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
／オンライン授業など通常とは異なる学校生活



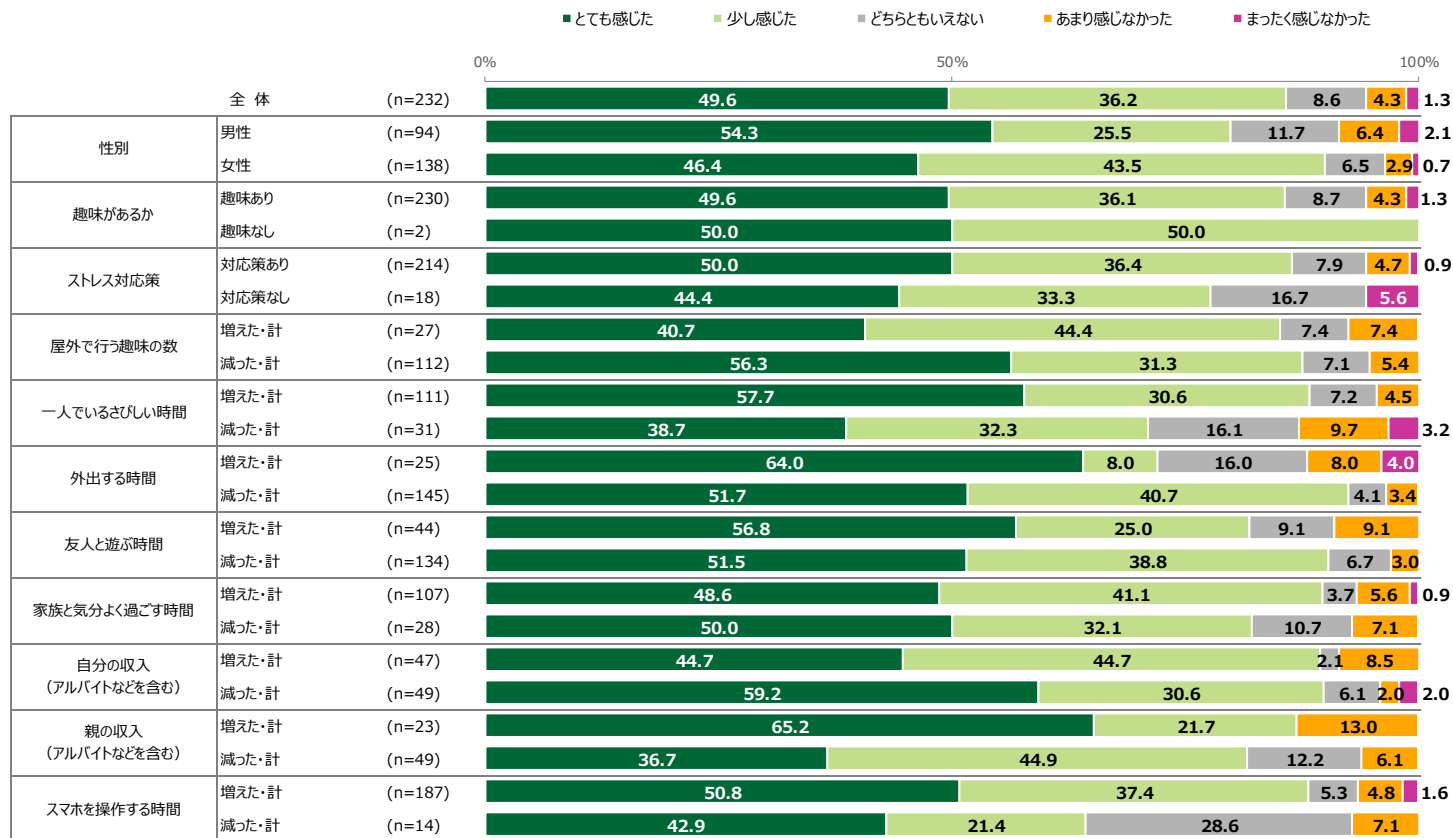
※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 2/8

- 「コロナ禍による進学・就職への悪影響」については、85.8%の人がストレスを感じたと回答。「とても感じた」は約半数を占める。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
／コロナ禍による進学・就職への悪影響



感じた・計	感じなかった・計
85.8%	5.6%
79.8%	8.5%
89.9%	3.6%
85.7%	5.7%
100.0%	0.0%
86.4%	5.6%
77.8%	5.6%
85.2%	7.4%
87.5%	5.4%
88.3%	4.5%
71.0%	12.9%
72.0%	12.0%
92.4%	3.4%
81.8%	9.1%
90.3%	3.0%
89.7%	6.5%
82.1%	7.1%
89.4%	8.5%
89.8%	4.1%
87.0%	13.0%
81.6%	6.1%
88.2%	6.4%
64.3%	7.1%

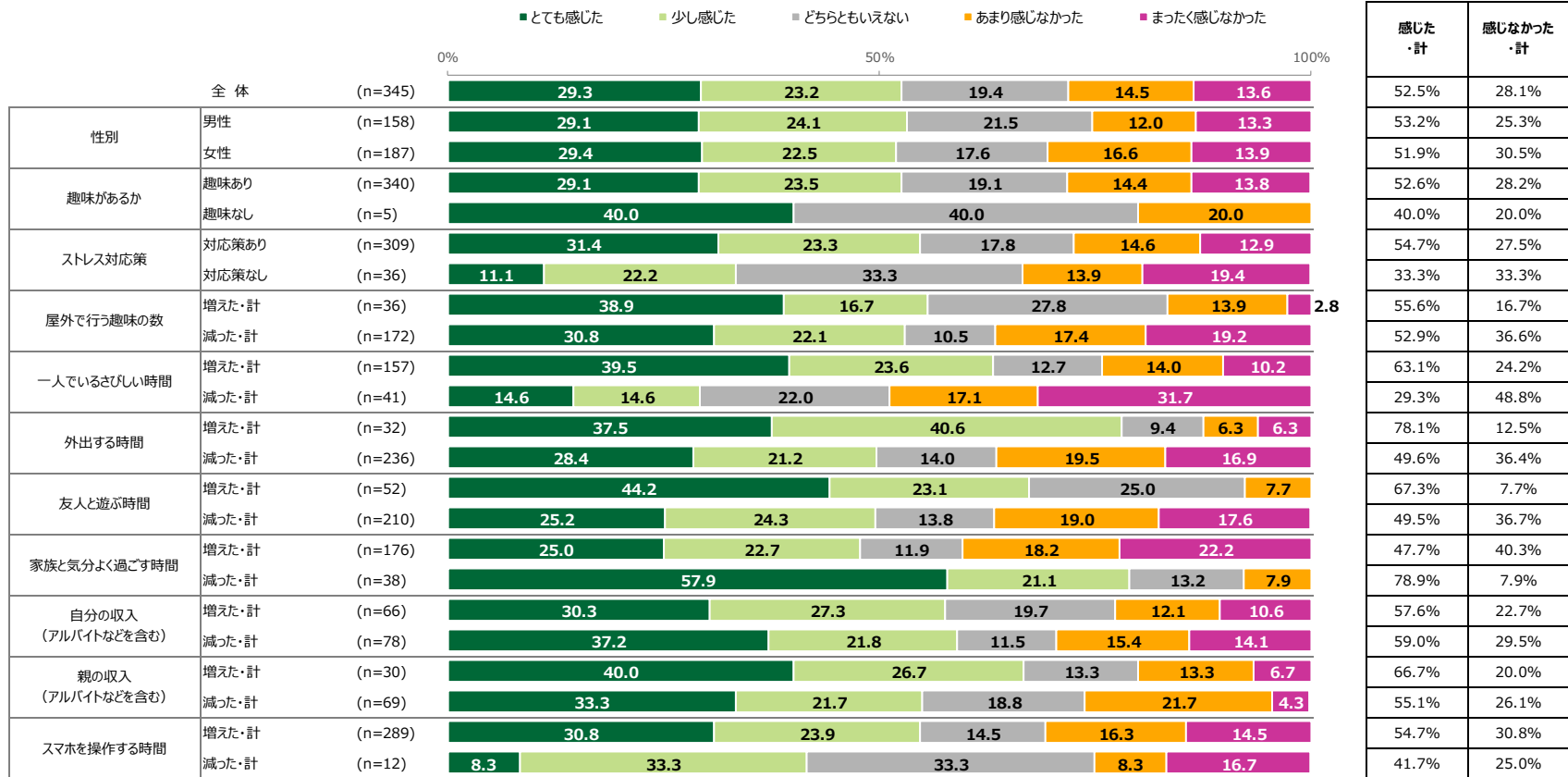
※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 3/8

- 「外出自粛で同居する家族との時間が増えた」については、ストレスを感じたと回答したのは52.5%。
- 28.1%の人がストレスを感じなかったと回答。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
 /外出自粛で同居する家族との時間が増えた



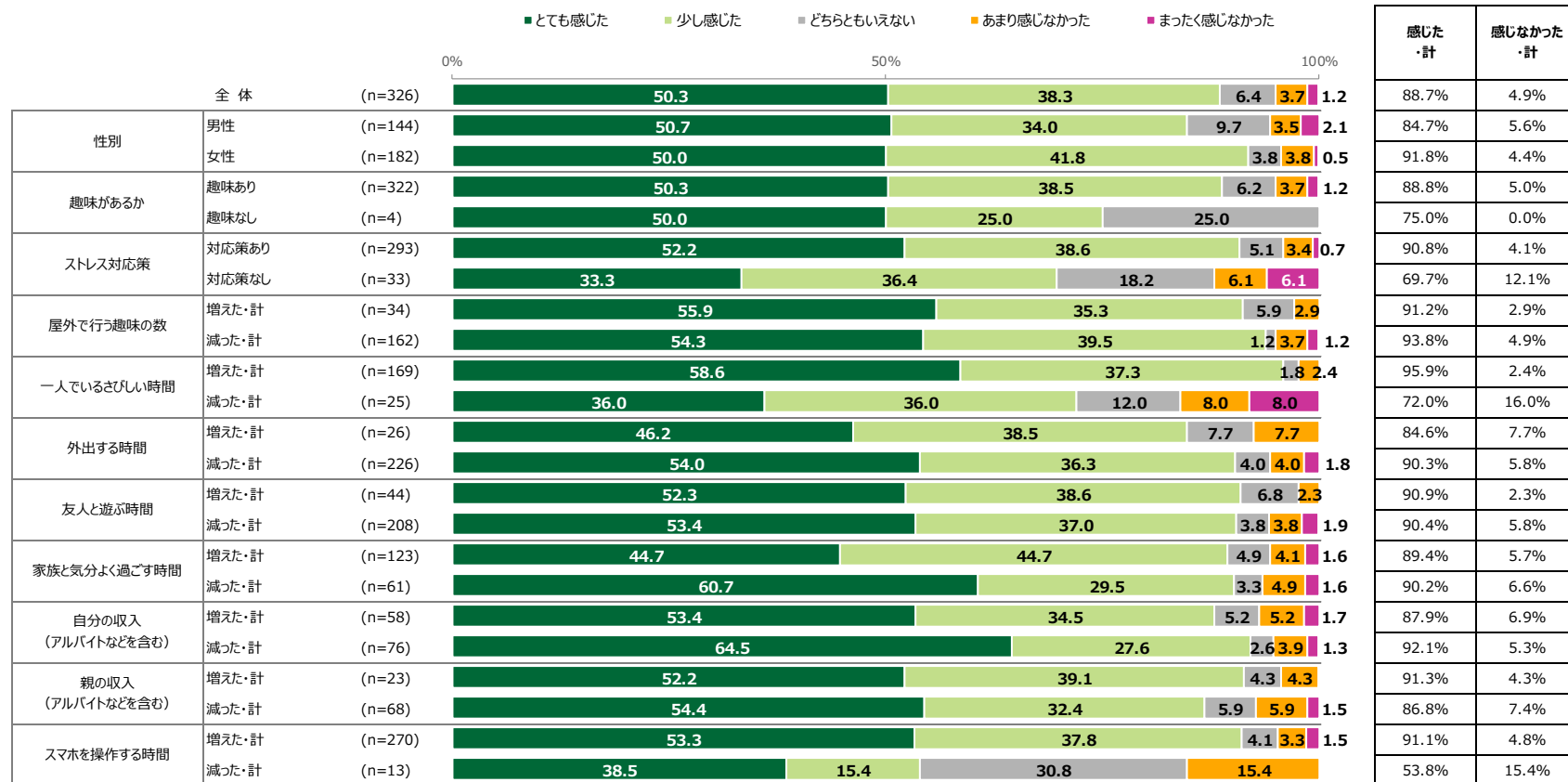
※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 4/8

- 「離れて暮らす家族・恋人・友人と会いづらくなった」については、88.7%の人がストレスを感じたと回答。「とても感じた」は約半数を占める。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
／離れて暮らす家族・恋人・友人と会いづらくなった



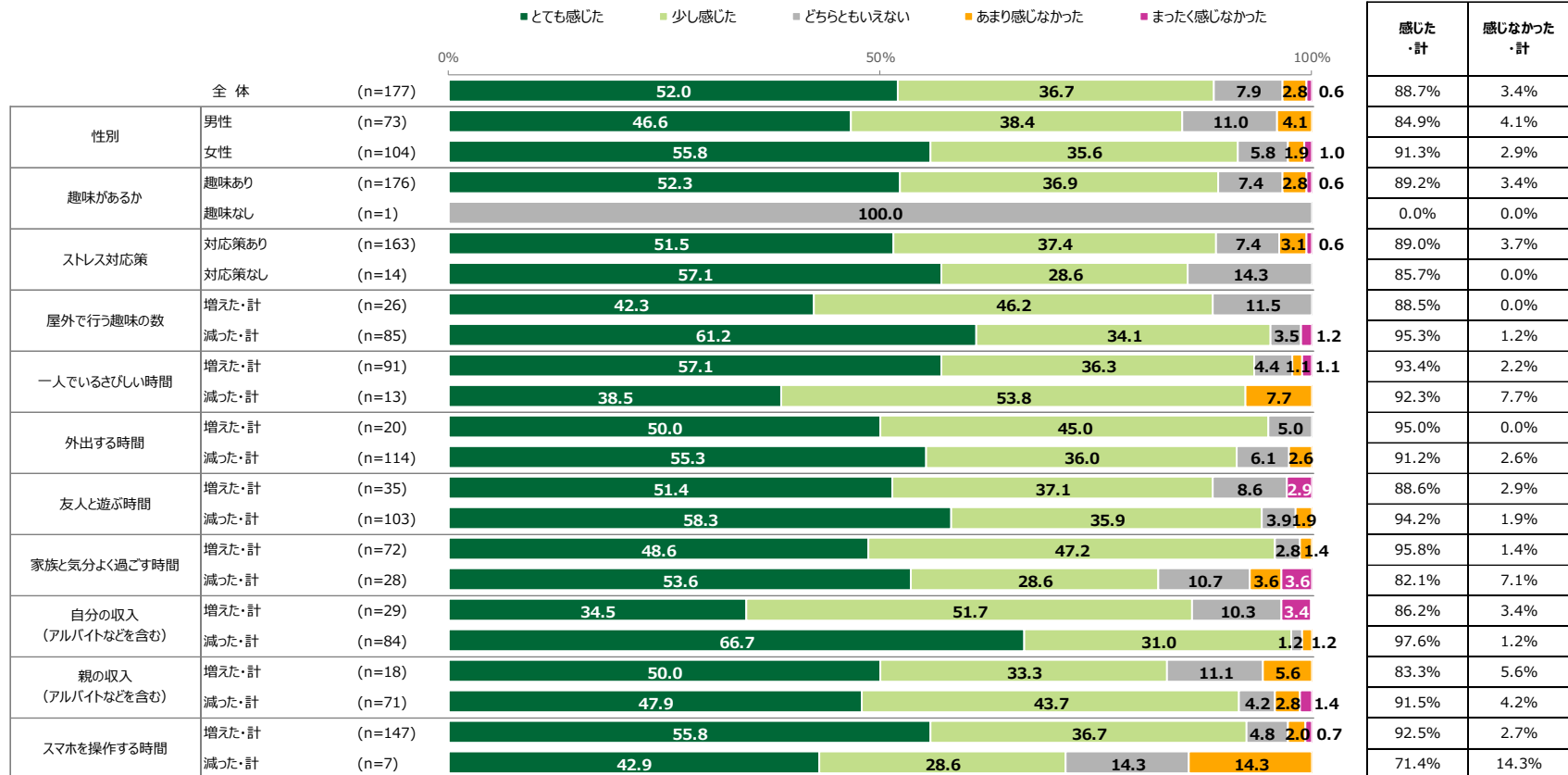
※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 5/8

- 「コロナ禍による家族・自分自身の収入への悪影響」については、88.7%の人がストレスを感じたと回答。「とても感じた」は過半数を占める。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
 /コロナ禍による家族・自分自身の収入への悪影響



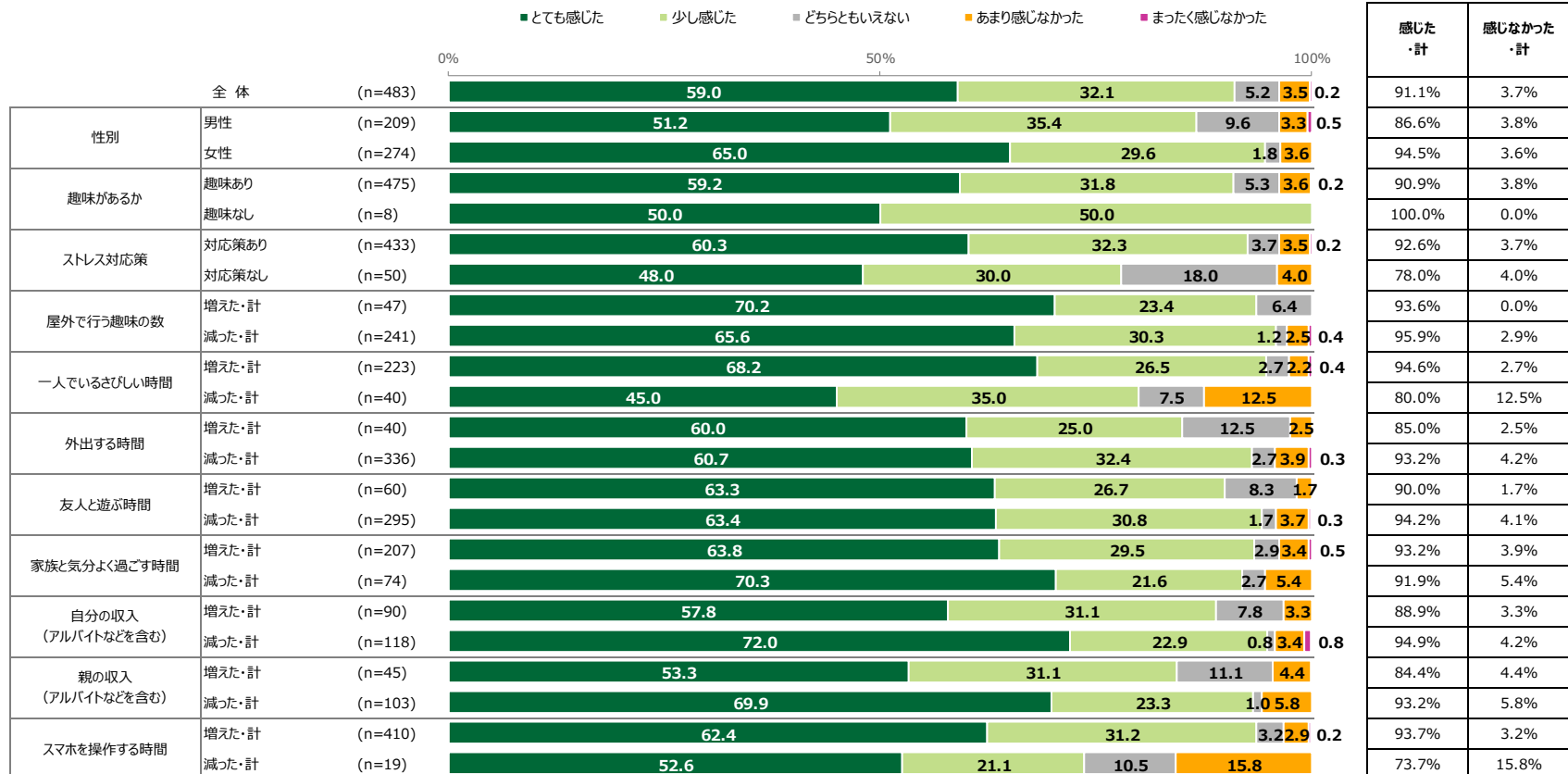
※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 6/8

- 「外出自粛で思うように余暇を過ごせなくなった」については、91.1%の人がストレスを感じたと回答。「とても感じた」は約6割を占め、他の項目と比べ最もストレスを感じる体験となる。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
 /外出自粛で思うように余暇を過ごせなくなった



※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 7/8

- 「テレワークなど通常とは異なる働き方」は、5名のため参考値とはなるが、60.0%の人がストレスを感じたと回答。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
／テレワークなど通常とは異なる働き方



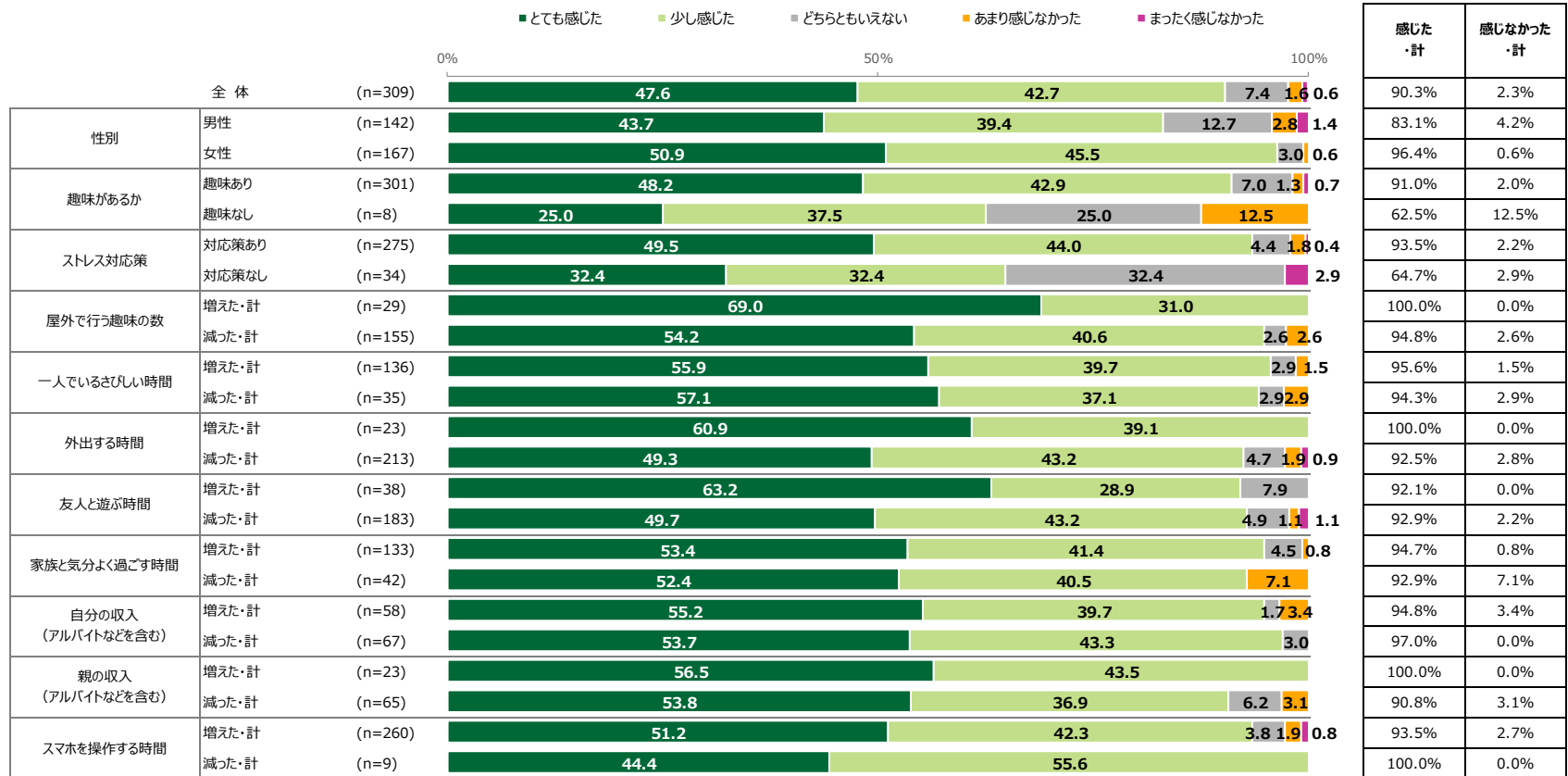
※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍で感じたストレス 8/8

- 「日常生活で自身が感染するリスクを感じた」については、90.3%の人がストレスを感じたと回答。「とても感じた」は約半数を占める。

## ■体験した内容について回答

Q この1か月間、コロナ禍に関連して、以下のことについてどの程度ストレスを感じましたか。  
／日常生活で自身が感染するリスクを感じた



※n=30未満は参考値として扱う



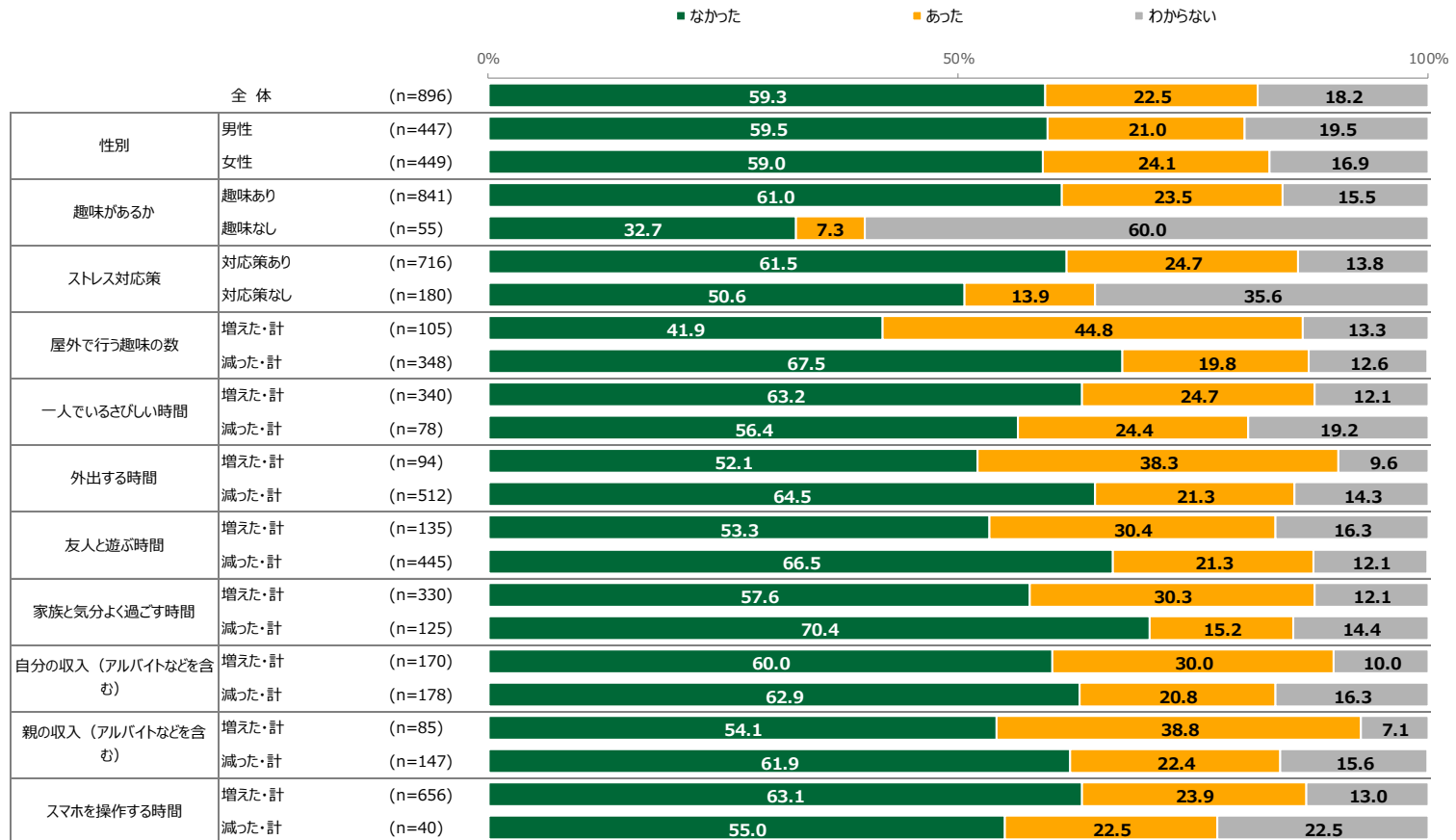
# コロナ禍に関連した良い影響 1/8

- 「学校生活」については、良い影響はなかったという回答が59.3%と、過半数を占める。

Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。

／学校生活

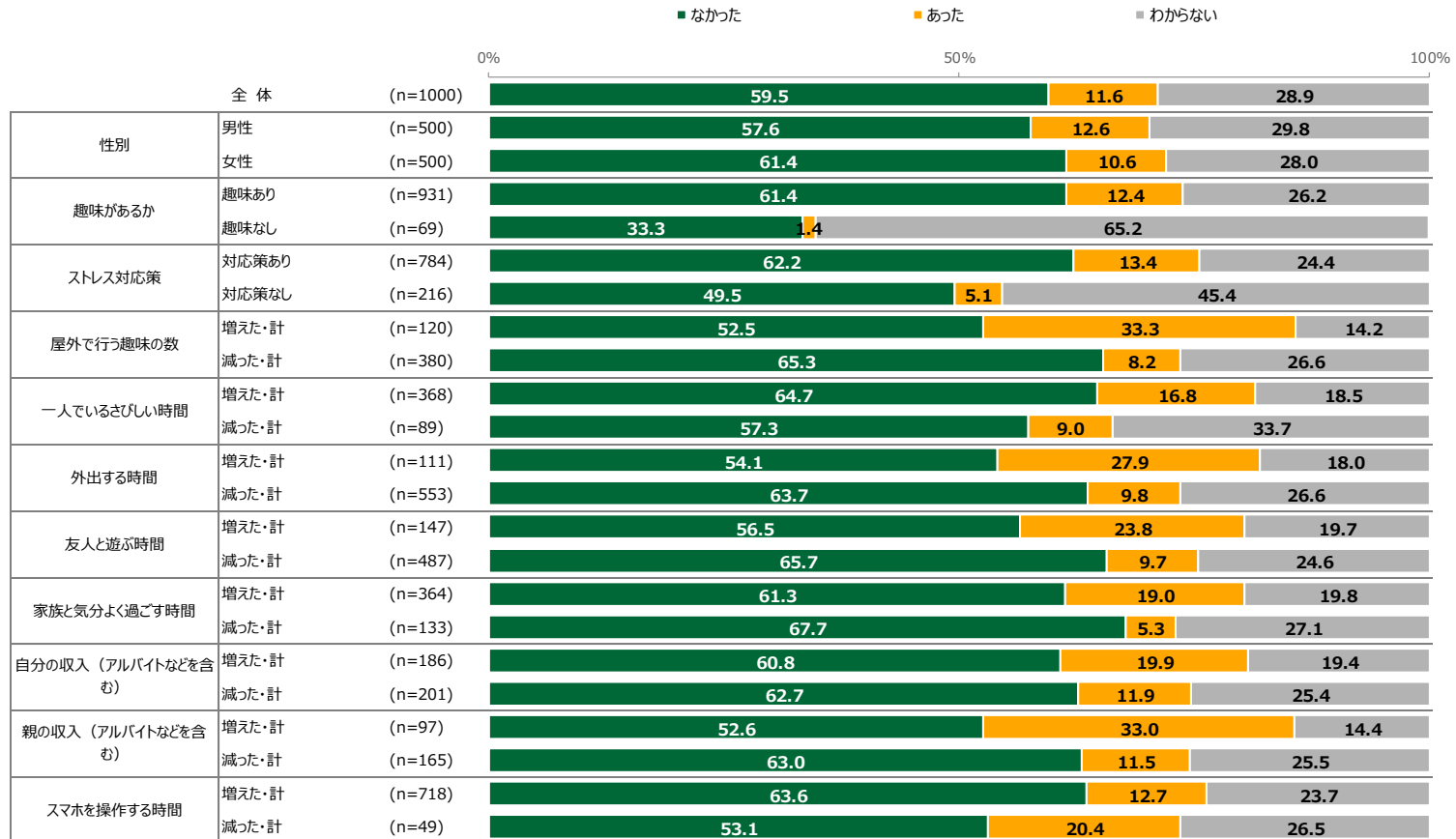
※学生のみ回答



# コロナ禍に関連した良い影響 2/8

- 「進学・就職」については、良い影響はなかったという回答が59.5%と、過半数を占める。

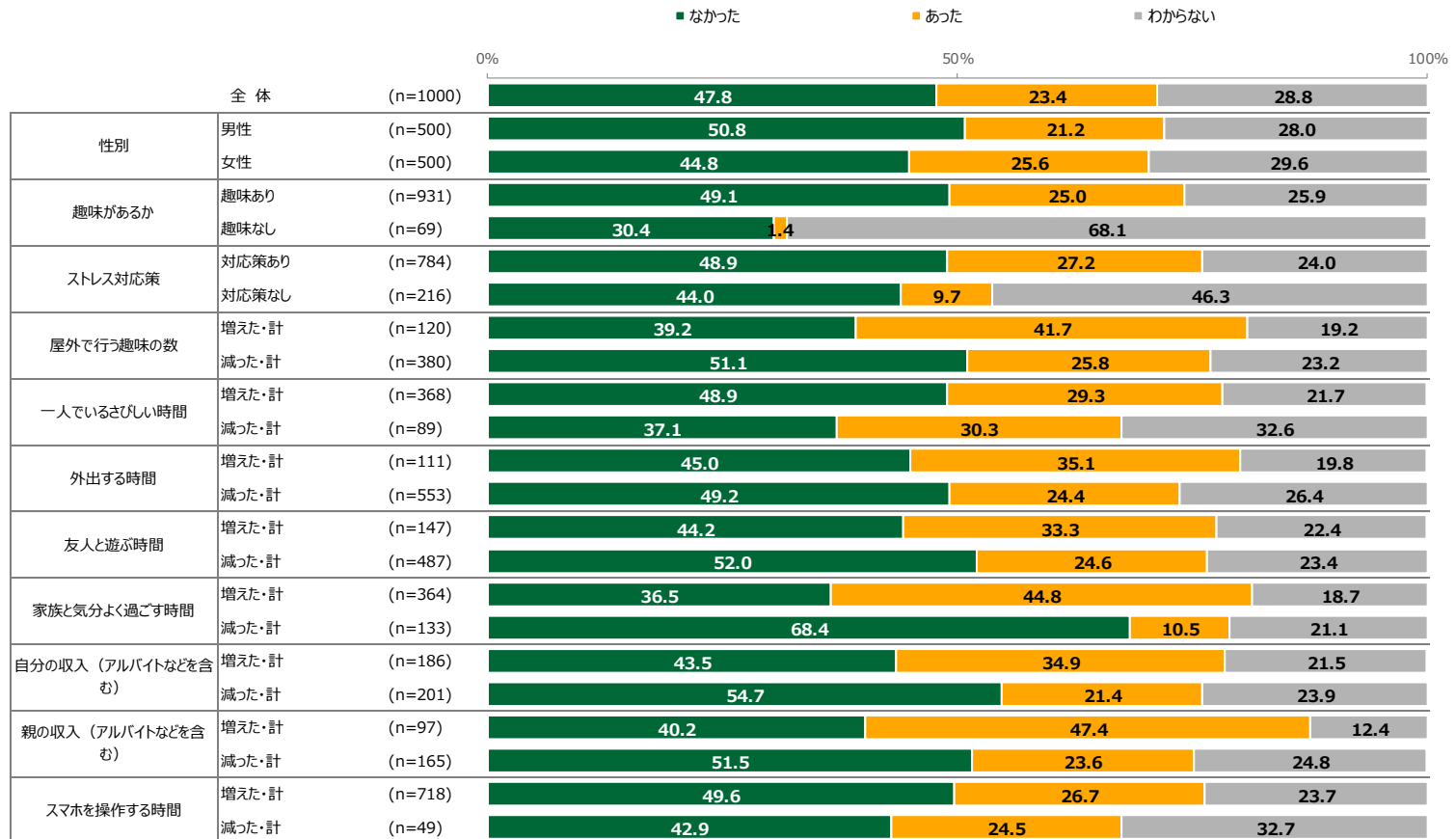
Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。  
／進学・就職



# コロナ禍に関連した良い影響 3/8

- 「同居する家族との関係」については、47.8%の人が良い影響はなかったと回答。
- 23.4%の人が「あった」と回答し、8項目の中では、良い影響があった割合が比較的高い。

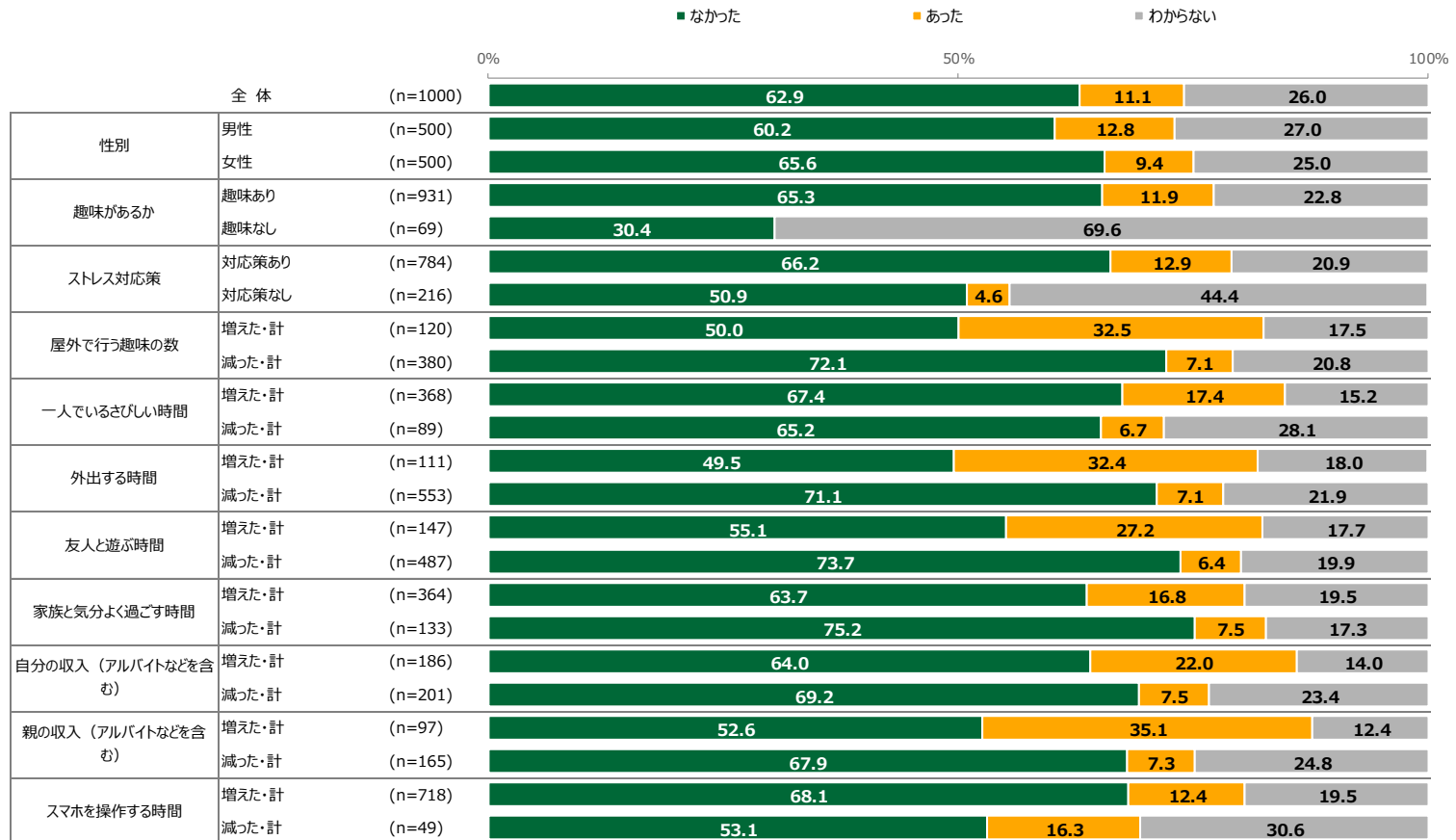
Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。  
 /同居する家族との関係



# コロナ禍に関連した良い影響 4/8

- 「離れて暮らす家族・恋人・友人との関係」については、良い影響はなかったという回答が62.9%と、過半数を占める。

Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。  
／離れて暮らす家族・恋人・友人との関係

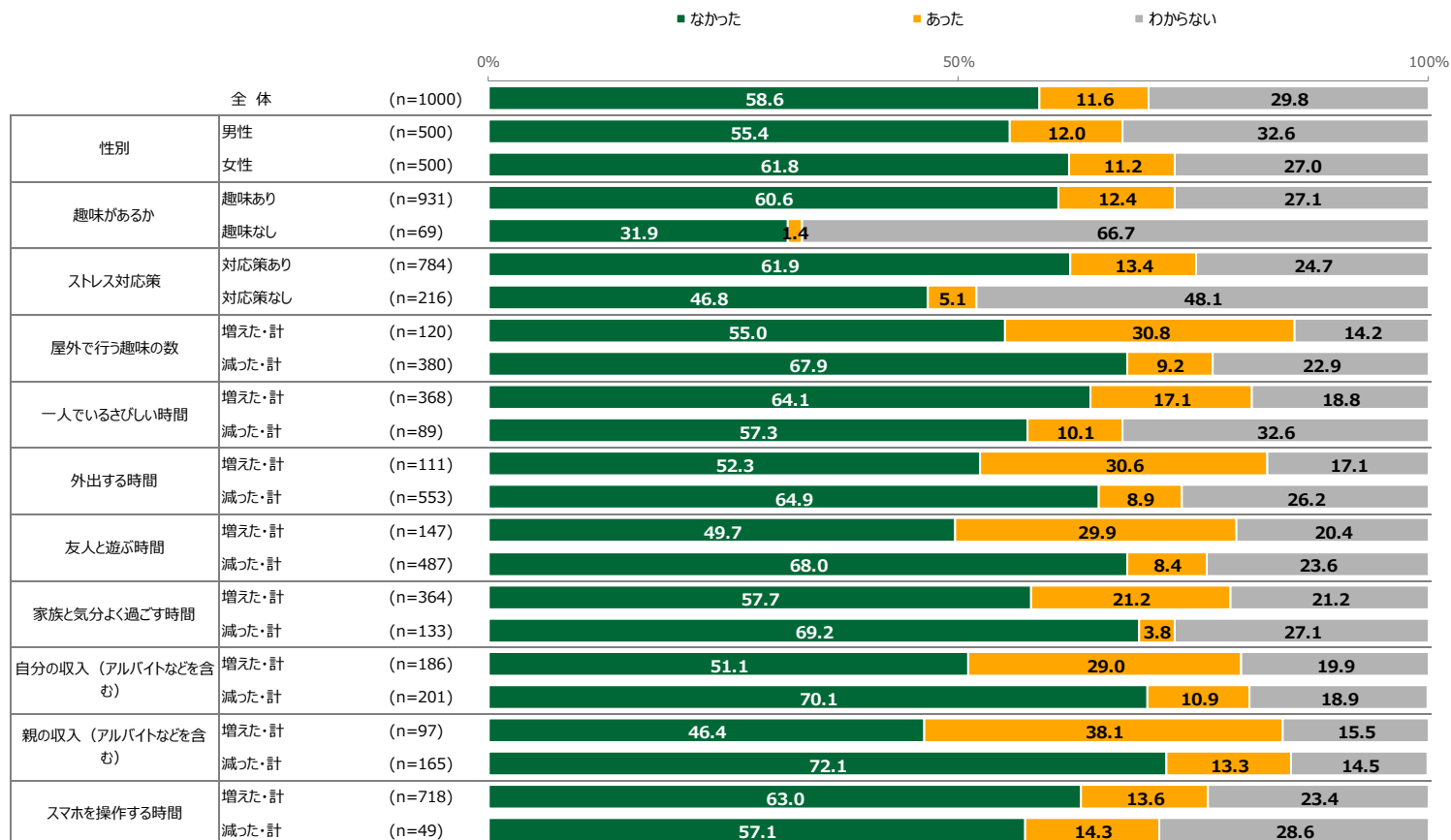


# コロナ禍に関連した良い影響 5/8

- 「家族・自分自身の収入」については、良い影響はなかったという回答が58.6%と、過半数を占める。

Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。

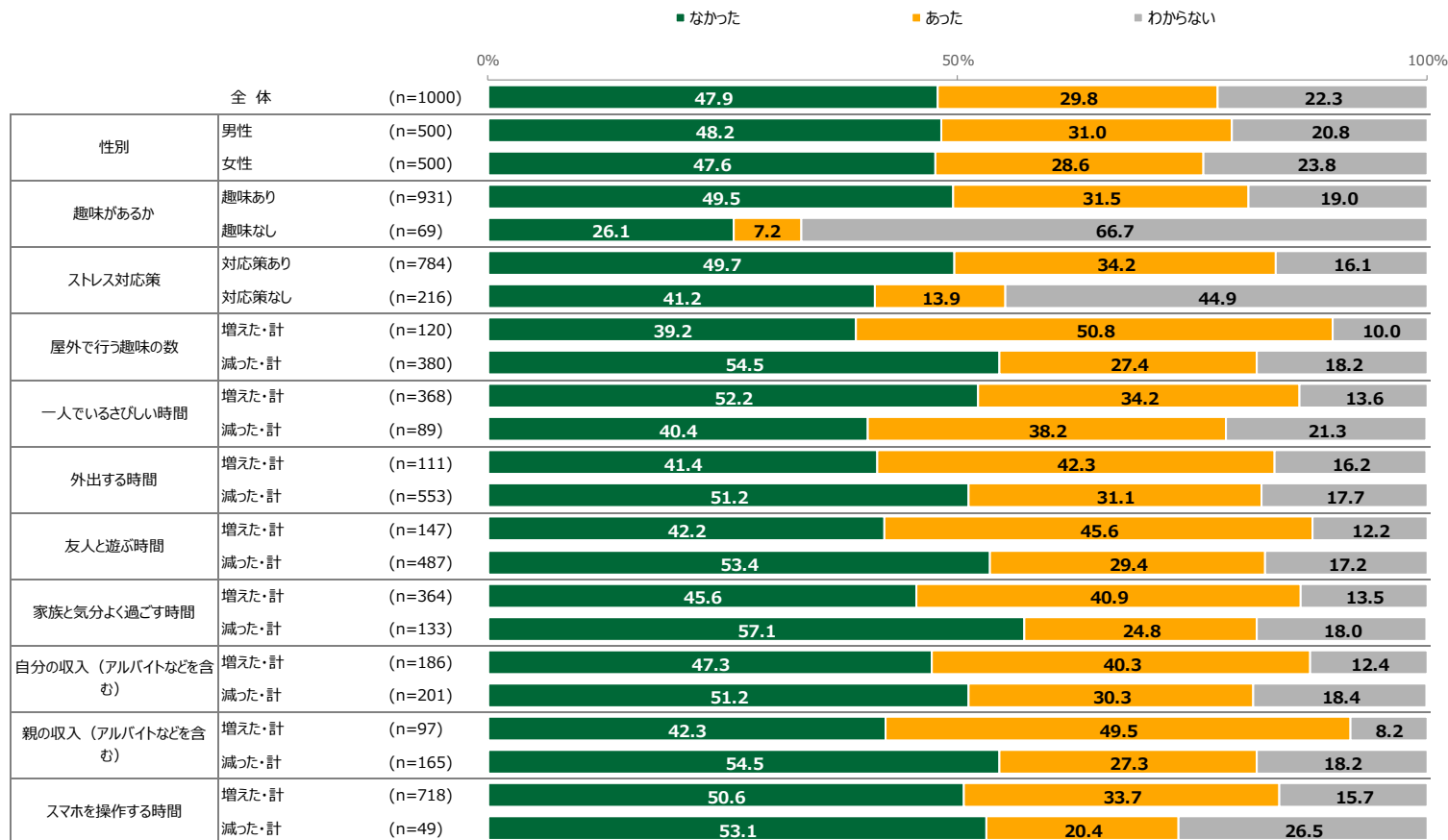
／家族・自分自身の収入



# コロナ禍に関連した良い影響 6/8

- 「余暇の過ごし方」については、47.9%の人が良い影響はなかったと回答。
- また、29.8%の人が「あった」と回答した。他の項目に比べ良い影響があった割合が高い。

Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。  
／余暇の過ごし方



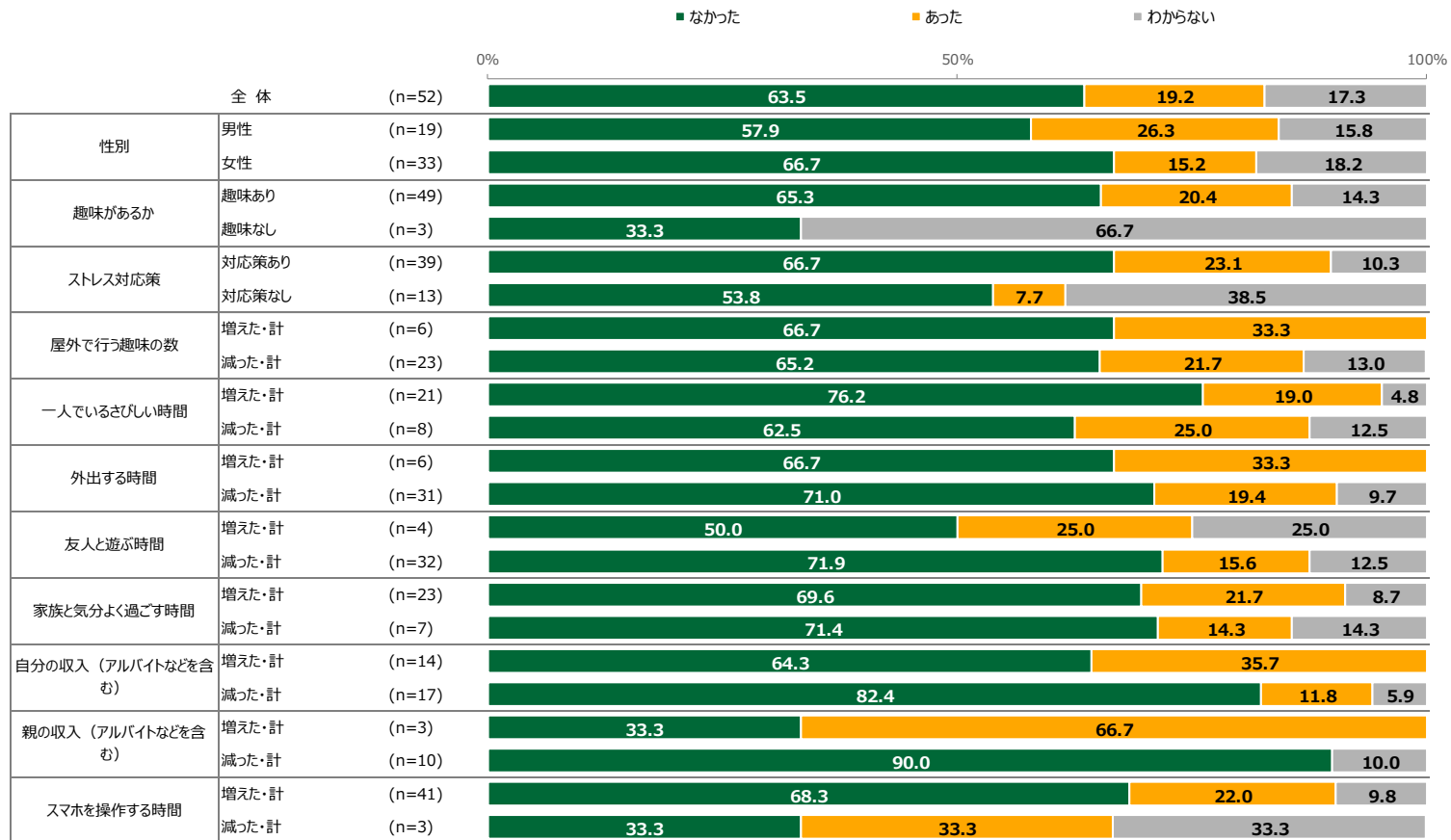
# コロナ禍に関連した良い影響 7/8

- 「働き方」については、良い影響はなかったという回答が63.5%と、過半数を占める。

Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。

／働き方

※働いている人のみ回答

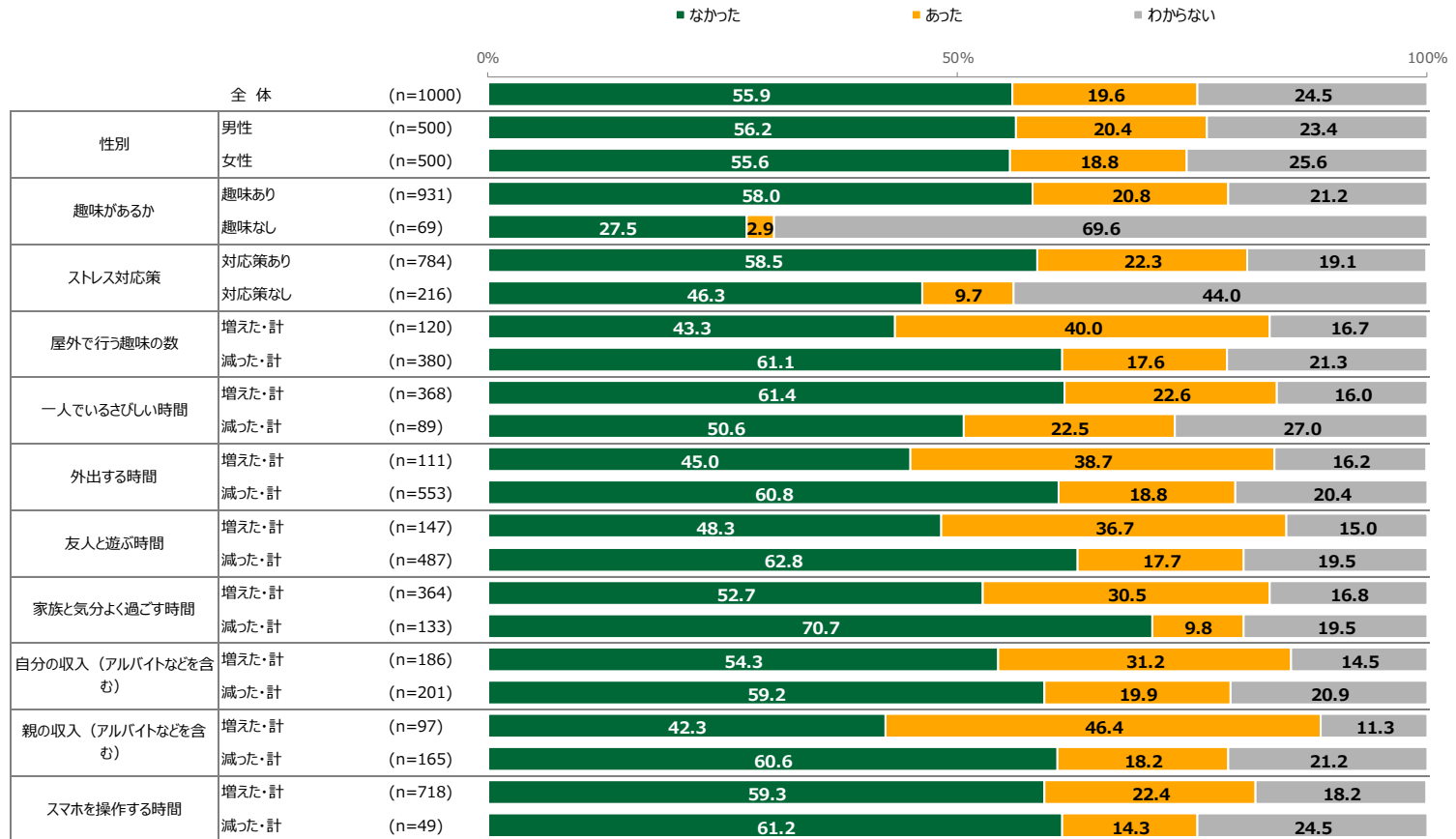


※n=30未満は参考値として扱う

# コロナ禍に関連した良い影響 8/8

- 「自身の健康」については、良い影響はなかったという回答が55.9%と、過半数を占める。

Q この1か月間、以下の点について、コロナ禍に関連した良い影響はありましたか。  
 /自身の健康

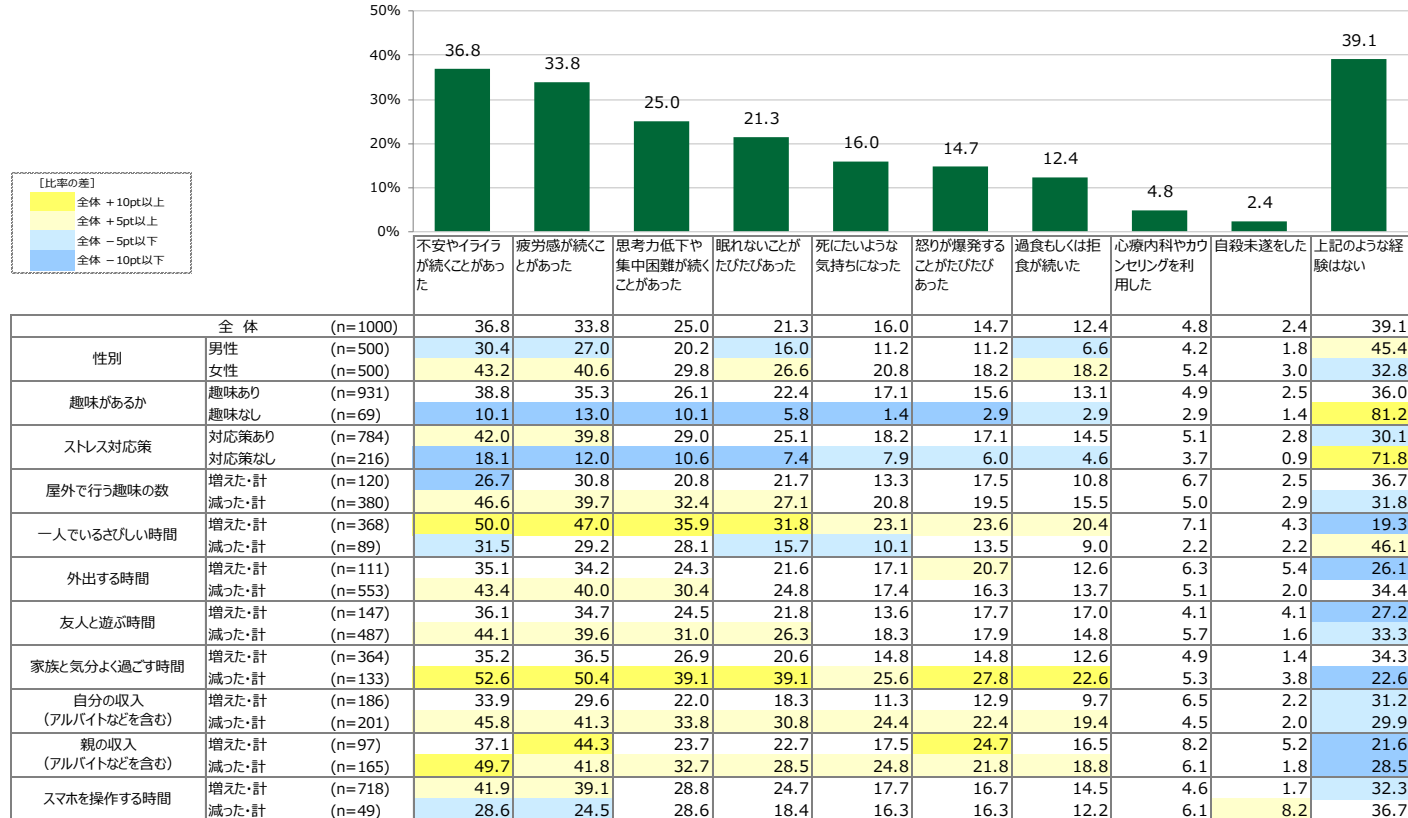




# 1か月以内に経験したこと

- 1か月以内に経験したこととして「不安やイライラが続くことがあった」が最も多く、36.8%の人が経験。ほか、「疲労感が続くことがあった」（33.8%）、「思考力低下や集中困難が続くことがあった」（25.0%）が上位に挙がる。
- 「屋外で行う趣味の数が減った」層、「一人でいるさびしい時間が増えた」層、「外出する時間が減った」層、「友人と遊ぶ時間が減った」層、「家族と気分よく過ごす時間が減った」層、「自分の収入や親の収入が減った」層は、不安やイライラ、疲労感などを感じる割合が高い。

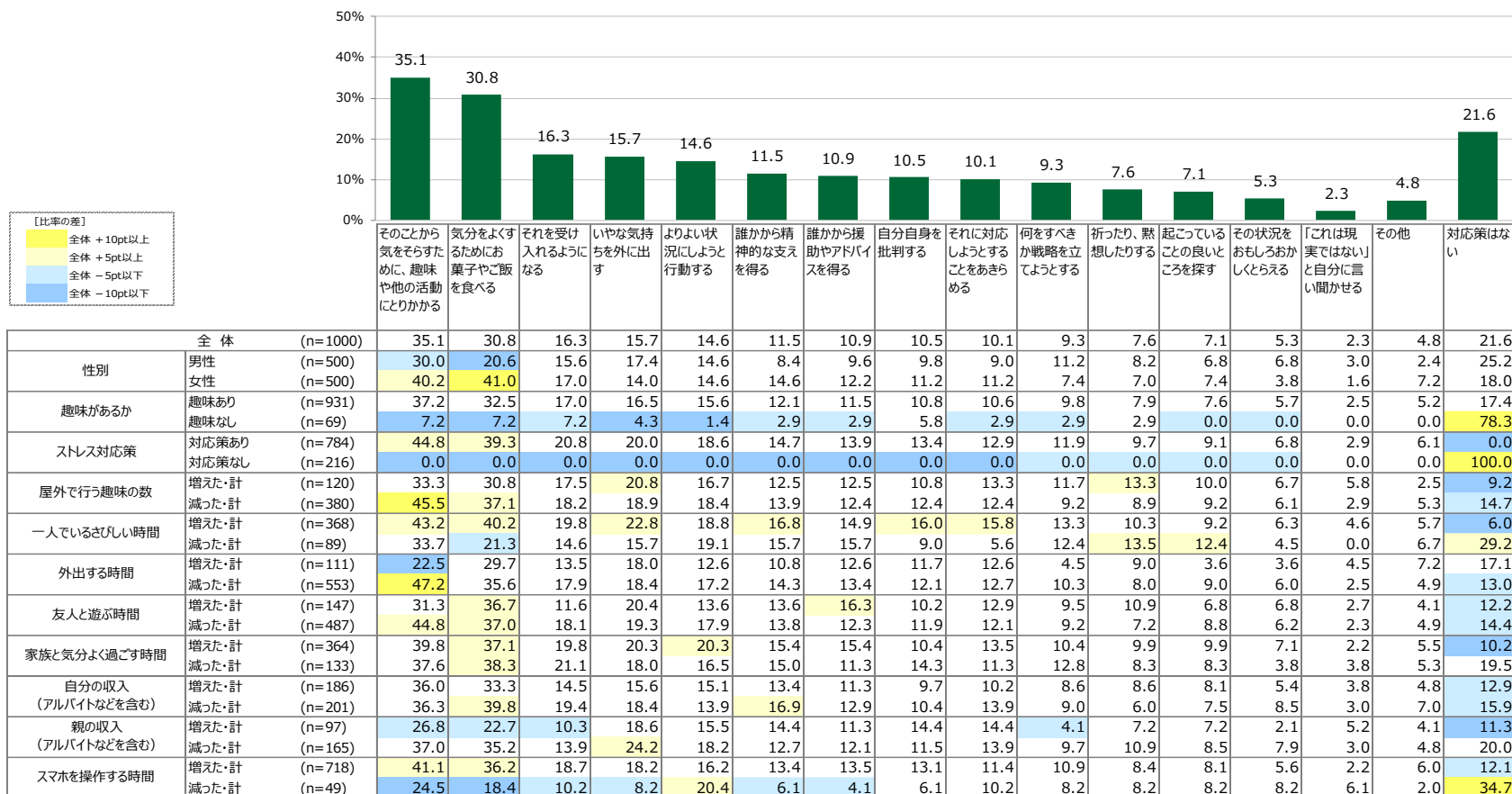
Q この1か月間、以下のことを経験しましたか。経験したものを全て選択してください。（複数回答）



# ストレスを感じたときの対処法

- ストレスを感じたときの対処法としては「そのことから気をそらすために、趣味や他の活動にとりかかる」(35.1%)が最多。次いで「気分をよくするために、お菓子やご飯を食べる」(30.8%)と続く。
- 21.6%の人は「対応策はない」と回答。

Q ストレスを感じたとき、どのような対応をしていますか。あなたにあてはまるものを全て選択してください。(複数回答)

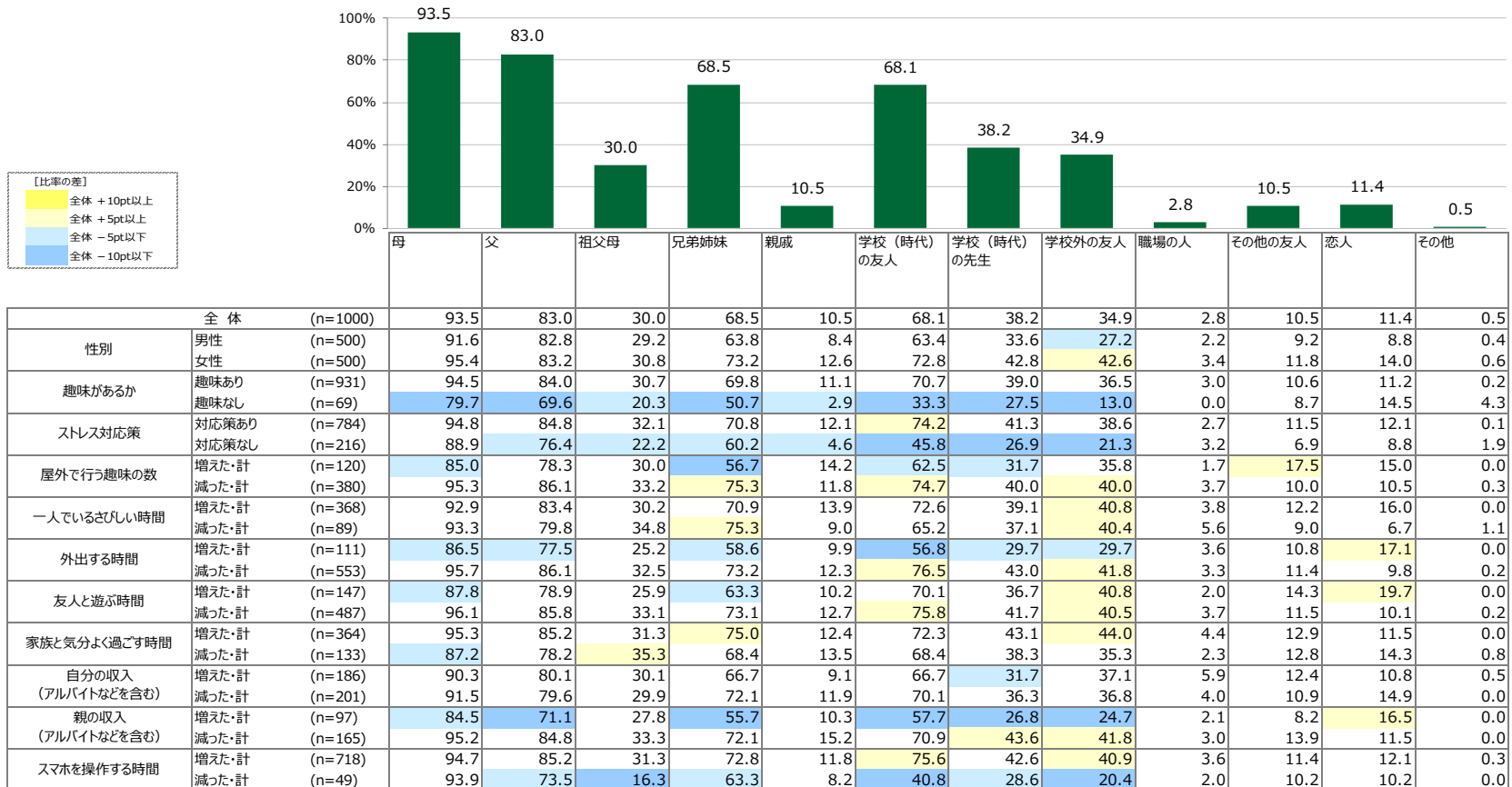


※選択肢は、大塚 泰正「理論的作成方法によるコーピング尺度：COPE」(広島大学心理学研究 第8号 2008、pp.121-128)を参考に作成

# 自身の生活で関係する人

- 「母」(93.5%)、「父」(83.0%)、「兄弟姉妹」(68.5%)など家族に続いて、「学校(時代)の友人」(68.1%)が多い。

Q 家族や身の回りにいる人など、あなたの生活で関係する人を全て選択してください。(複数回答)

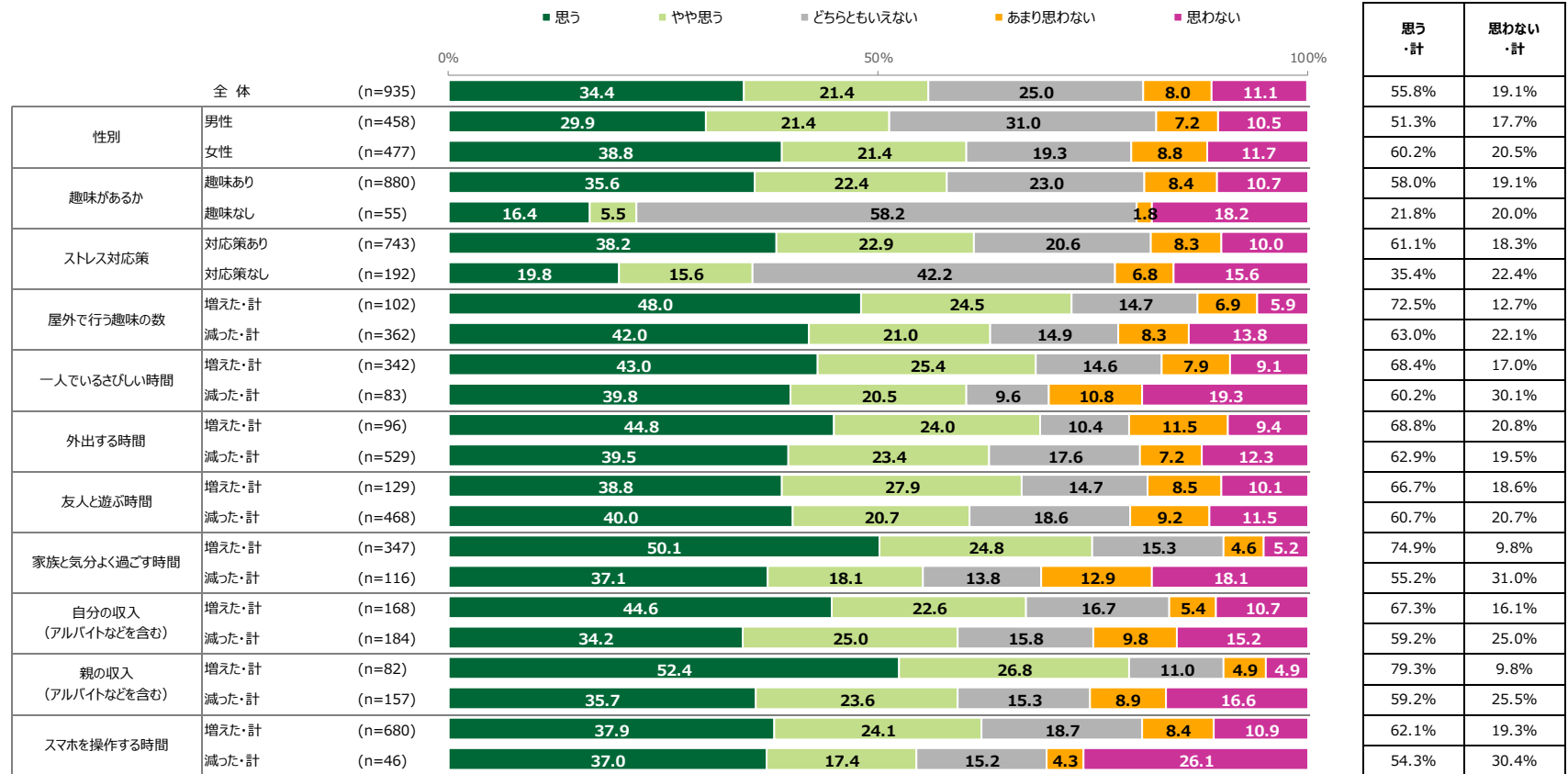


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 1/18

- 自身の母親については、55.8%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。
- 特に女性は60.2%が「思う」「やや思う」と回答し、男性に比べて多い。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／母

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答

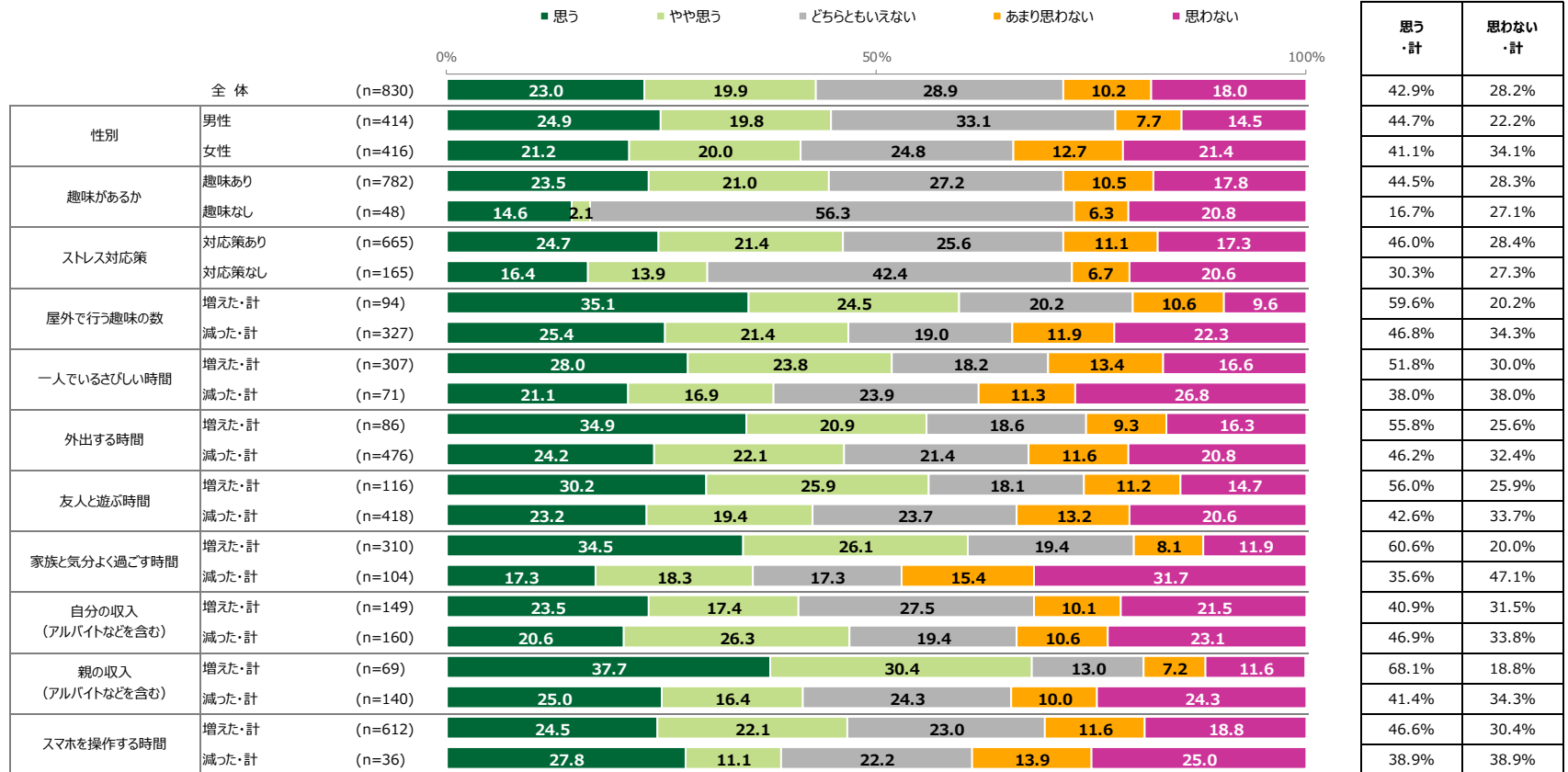


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 2/18

- 自身の父親については、42.9%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／父

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答

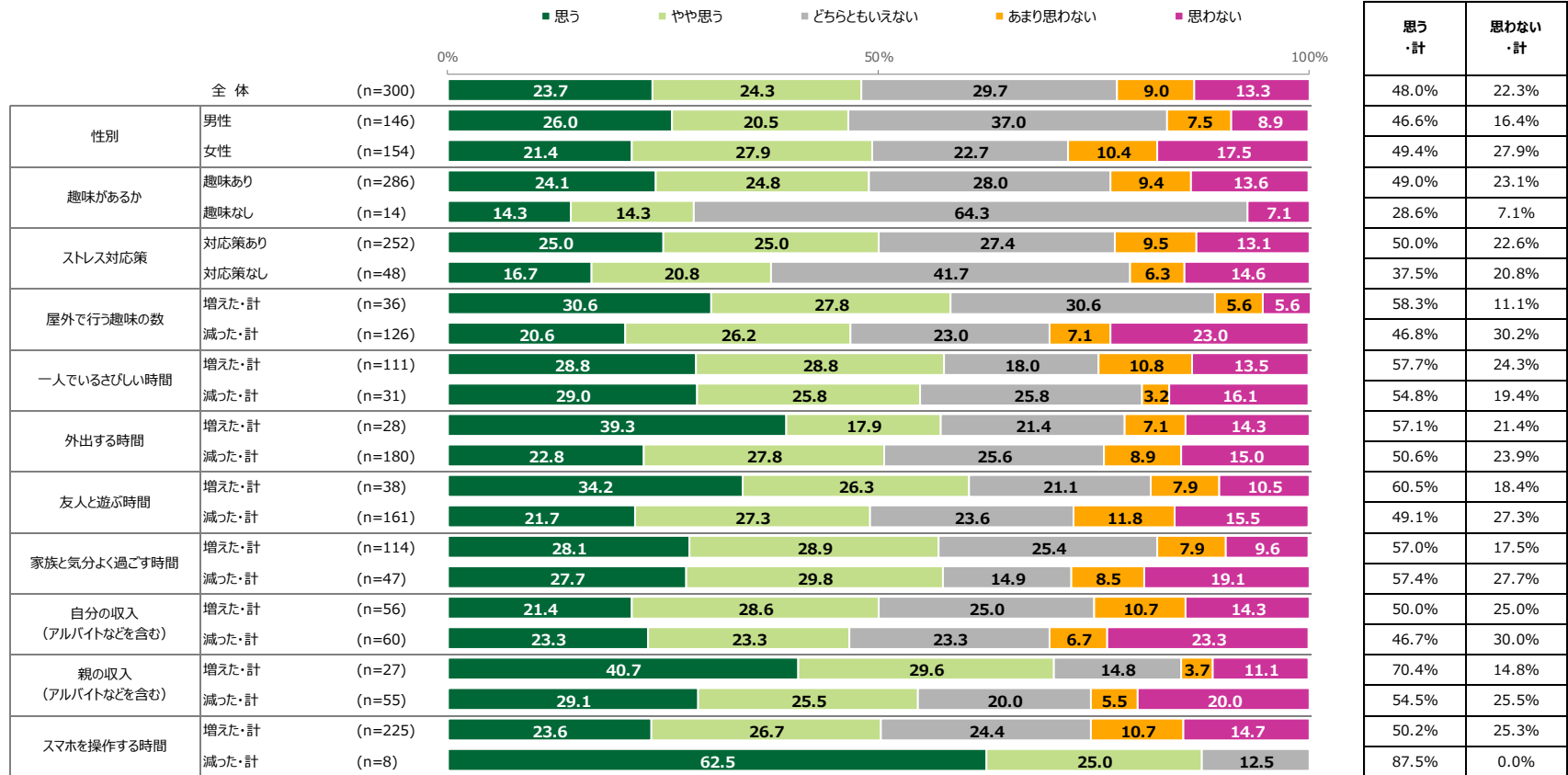


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 3/18

- 自身の祖父母については、48.0%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／祖父母

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



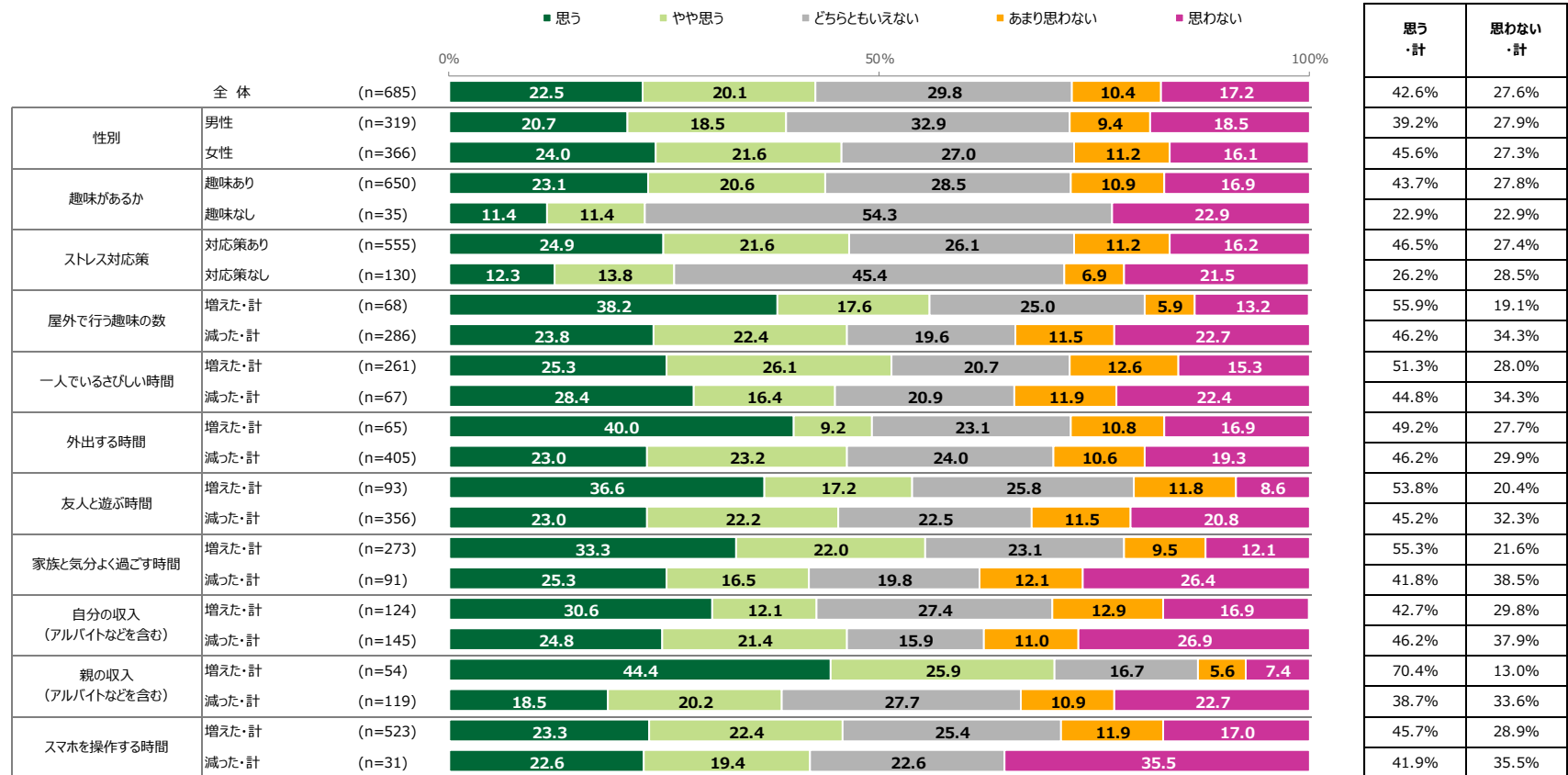
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽しにする助け 4/18

- 自身の兄弟姉妹については、42.6%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽しにする助けになると回答。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽しにする助けになると、どの程度思いますか。／兄弟姉妹

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答

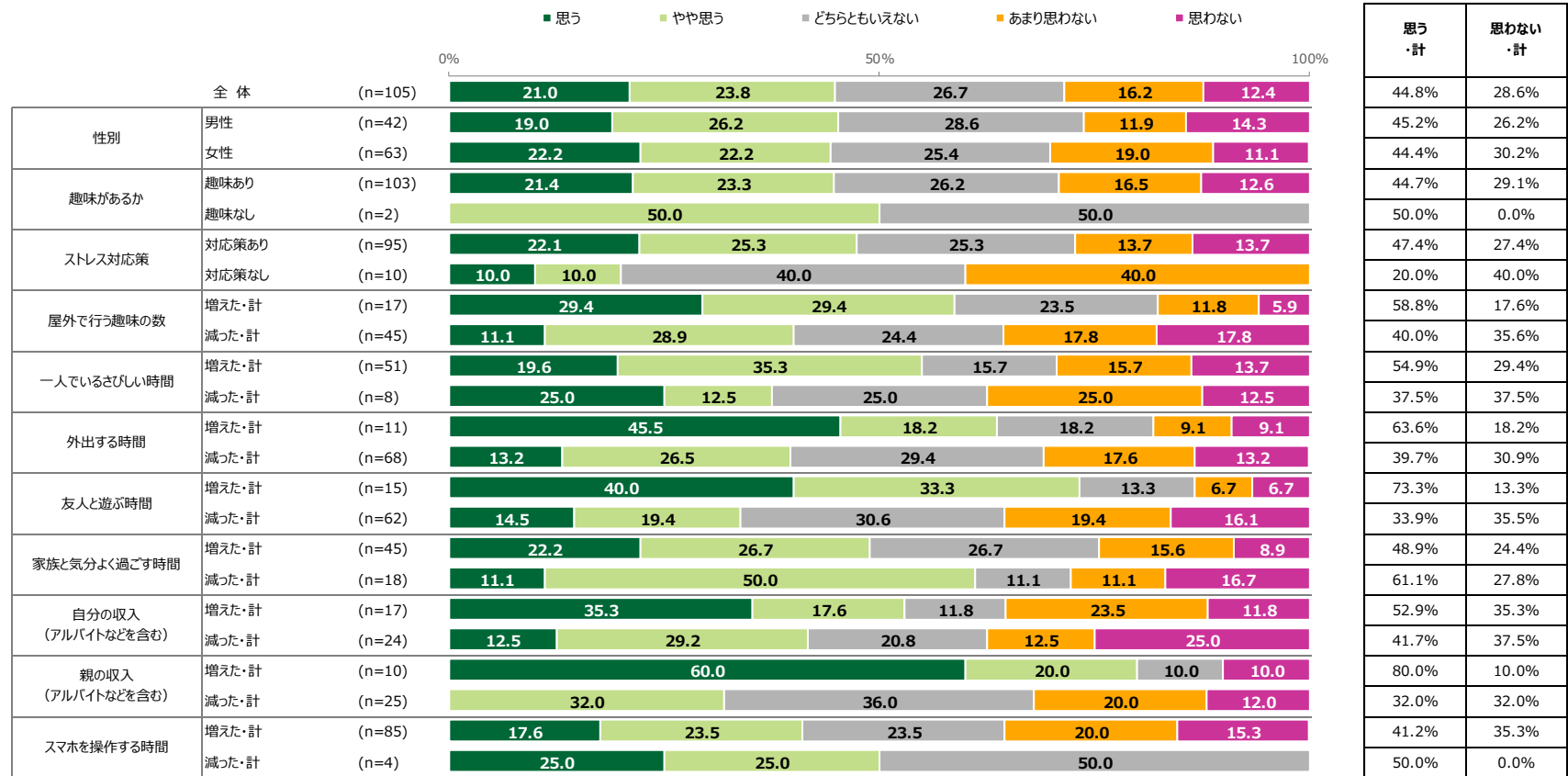


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 5/18

- 自身の親戚については、44.8%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／親戚

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



※n=30未満は参考値として扱う

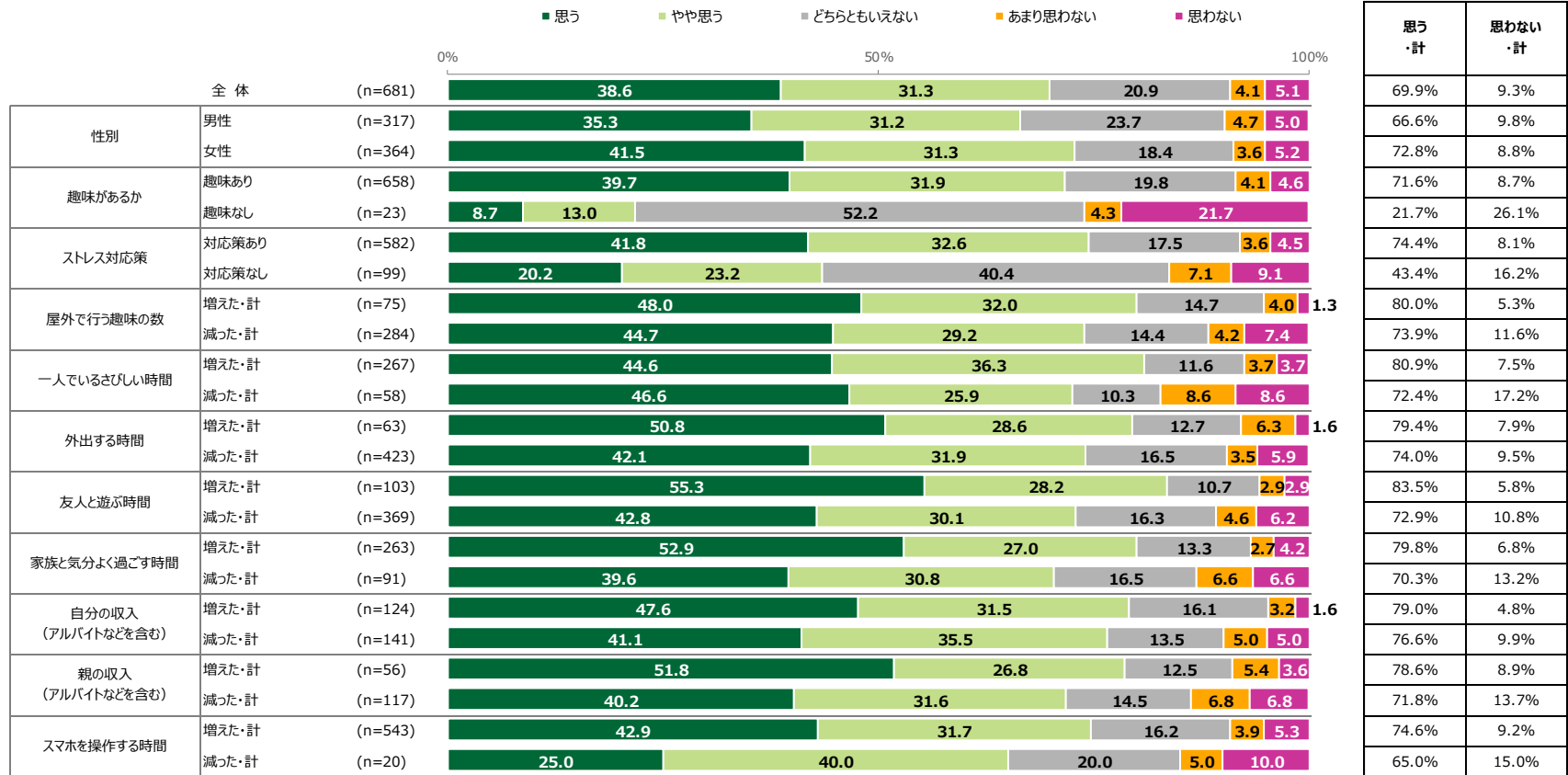


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 6/18

- 学校（時代）の友人については、69.9%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。家族や親戚より多い割合であった。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／学校（時代）の友人

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



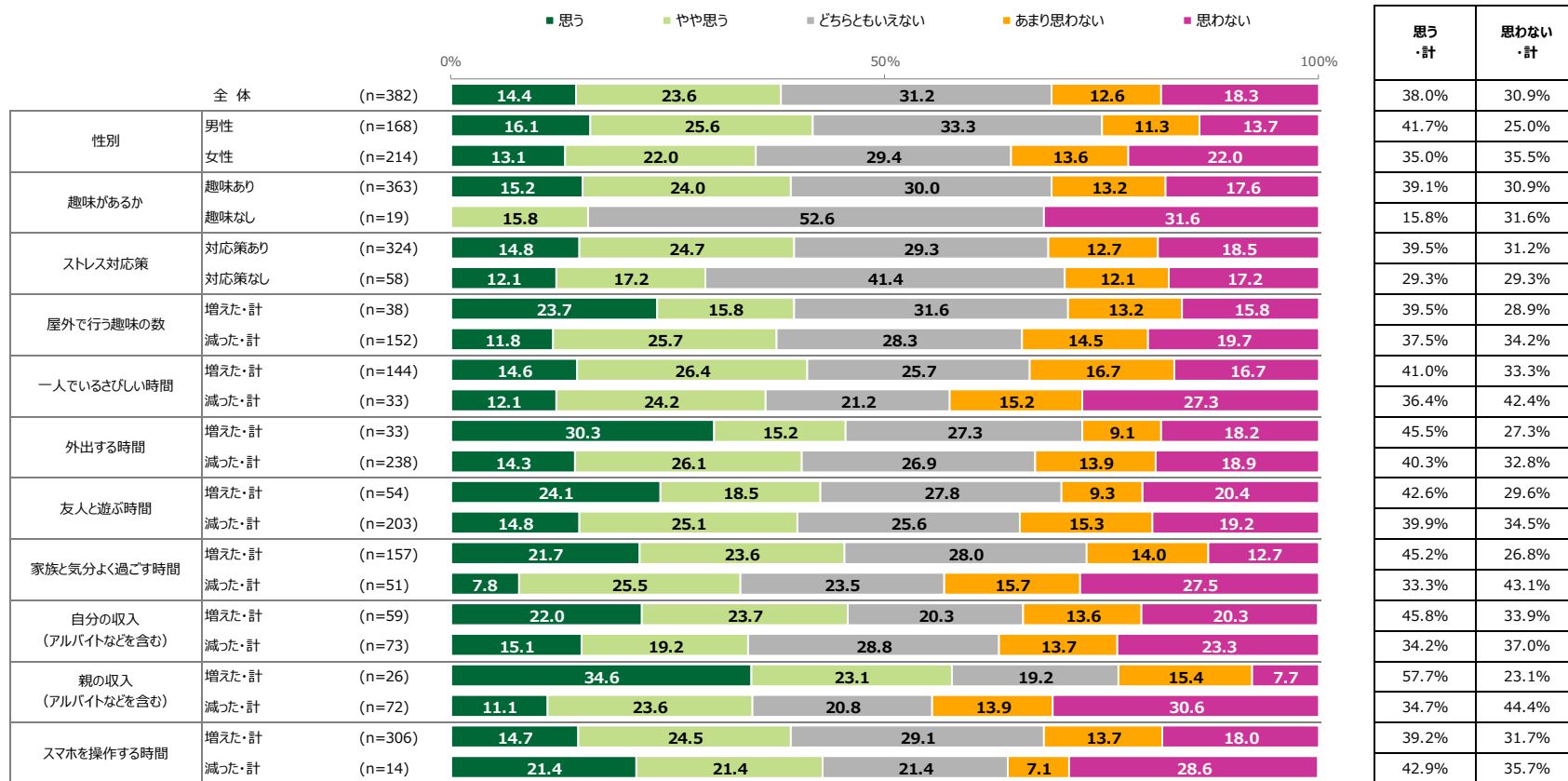
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 7/18

- 学校（時代）の先生については、38.0%の人が「思う」「やや思う」と回答。反対に「思わない・計」は30.9%。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／学校（時代）の先生

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



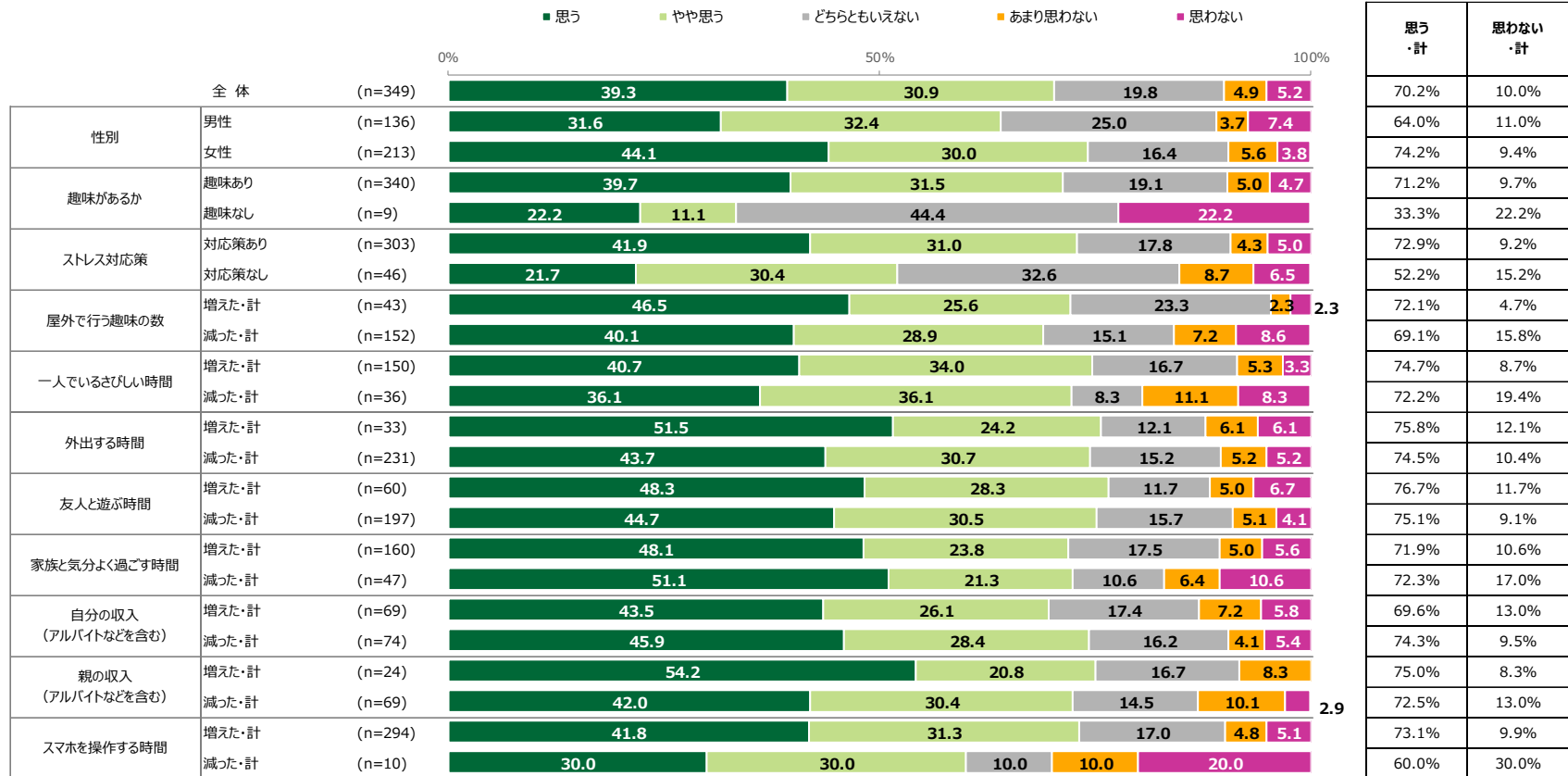
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 8/18

- 学校外の友人については、70.2%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。家族や親戚より多い割合であった。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／学校外の友人

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



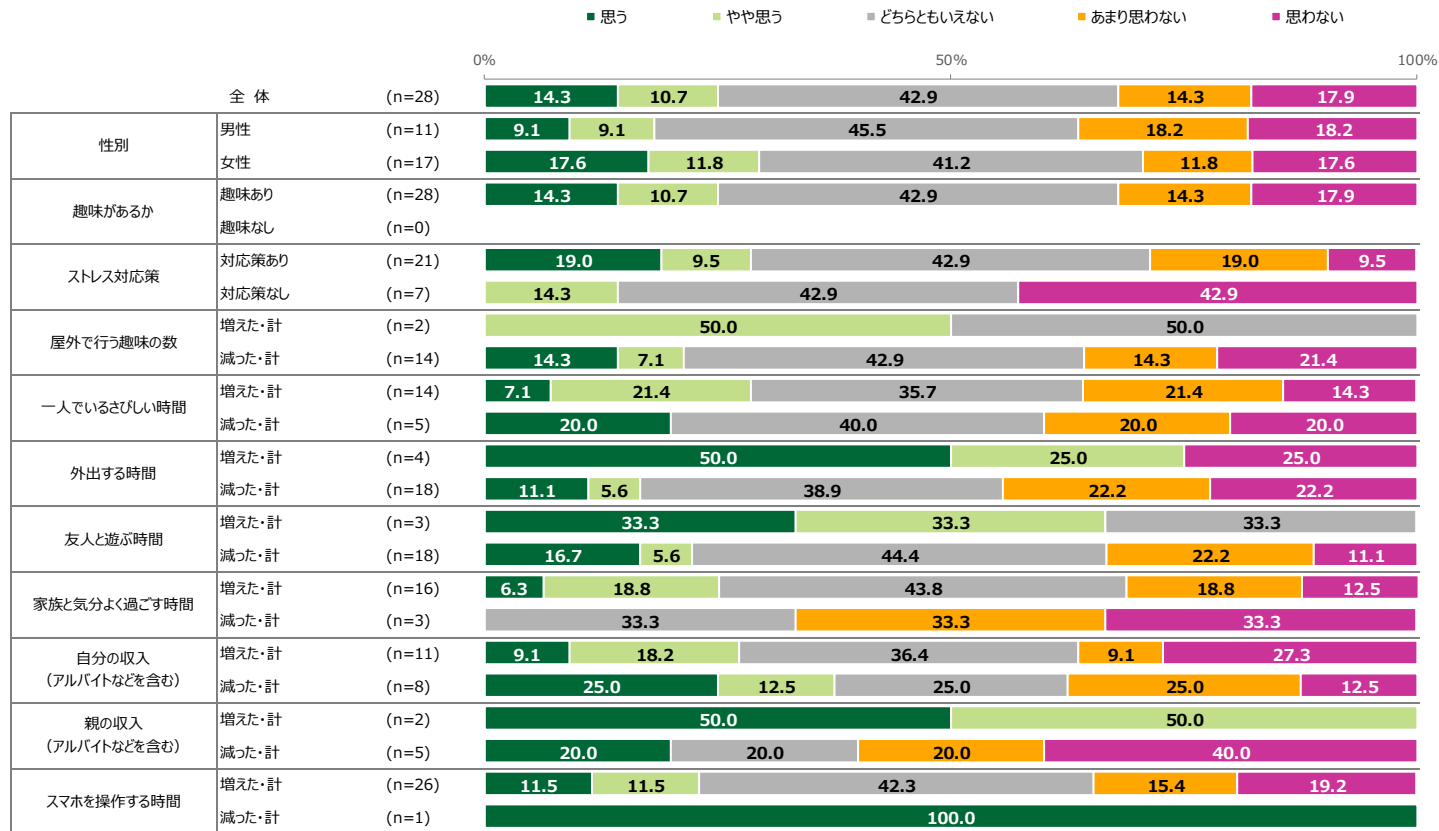
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 9/18

- 職場の人については、「思わない・計」が32.1%。「思う・計」より多い。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／職場の人

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



思う・計	思わない・計
25.0%	32.1%
18.2%	36.4%
29.4%	29.4%
25.0%	32.1%
0.0%	0.0%
28.6%	28.6%
14.3%	42.9%
50.0%	0.0%
21.4%	35.7%
28.6%	35.7%
20.0%	40.0%
75.0%	25.0%
16.7%	44.4%
66.7%	0.0%
22.2%	33.3%
25.0%	31.3%
0.0%	66.7%
27.3%	36.4%
37.5%	37.5%
100.0%	0.0%
20.0%	60.0%
23.1%	34.6%
100.0%	0.0%

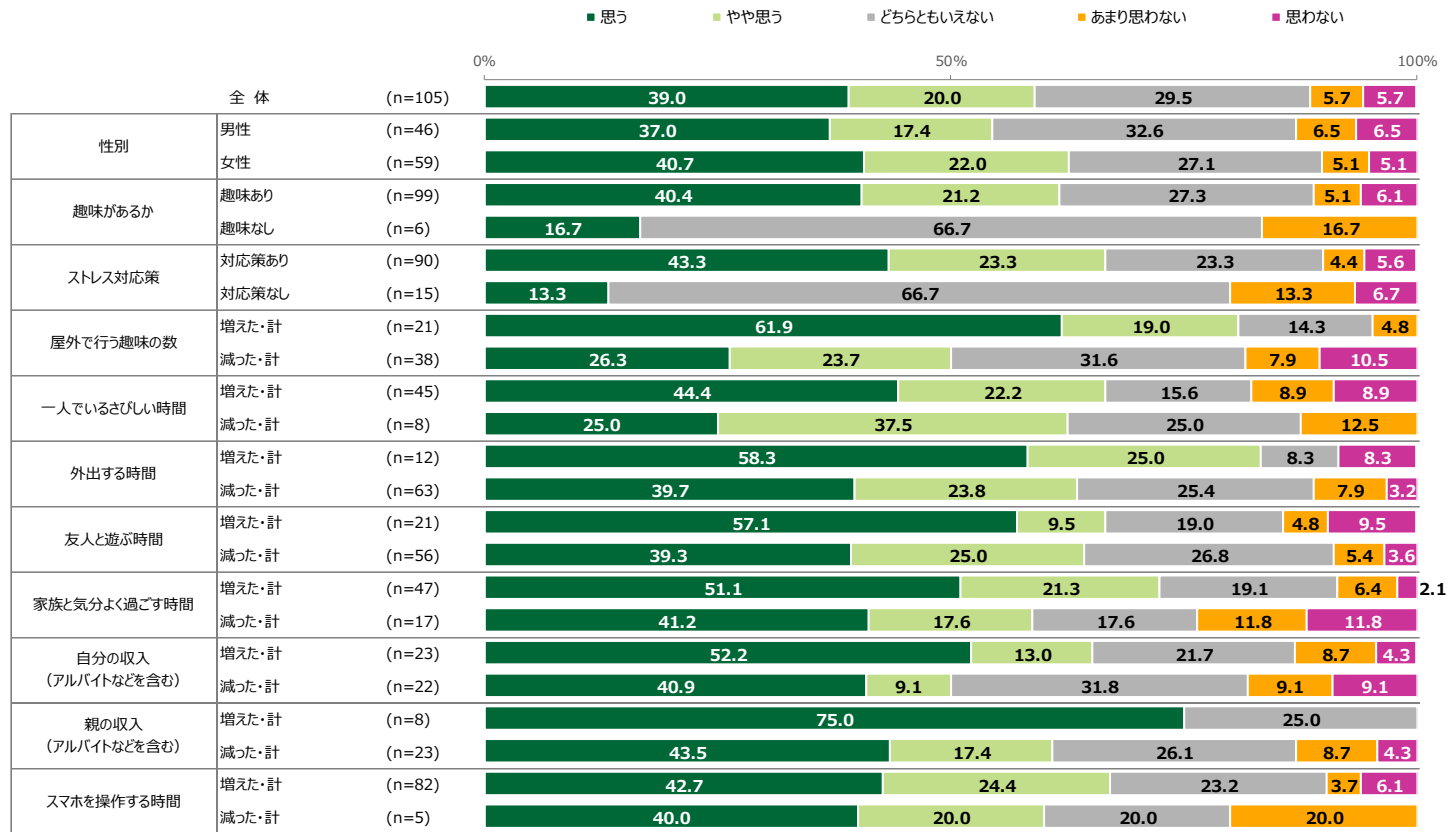
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 10/18

- その他の友人については、59.0%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／その他の友人

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



思う・計	思わない・計
59.0%	11.4%
54.3%	13.0%
62.7%	10.2%
61.6%	11.1%
16.7%	16.7%
66.7%	10.0%
13.3%	20.0%
81.0%	4.8%
50.0%	18.4%
66.7%	17.8%
62.5%	12.5%
83.3%	8.3%
63.5%	11.1%
66.7%	14.3%
64.3%	8.9%
72.3%	8.5%
58.8%	23.5%
65.2%	13.0%
50.0%	18.2%
75.0%	0.0%
60.9%	13.0%
67.1%	9.8%
60.0%	20.0%

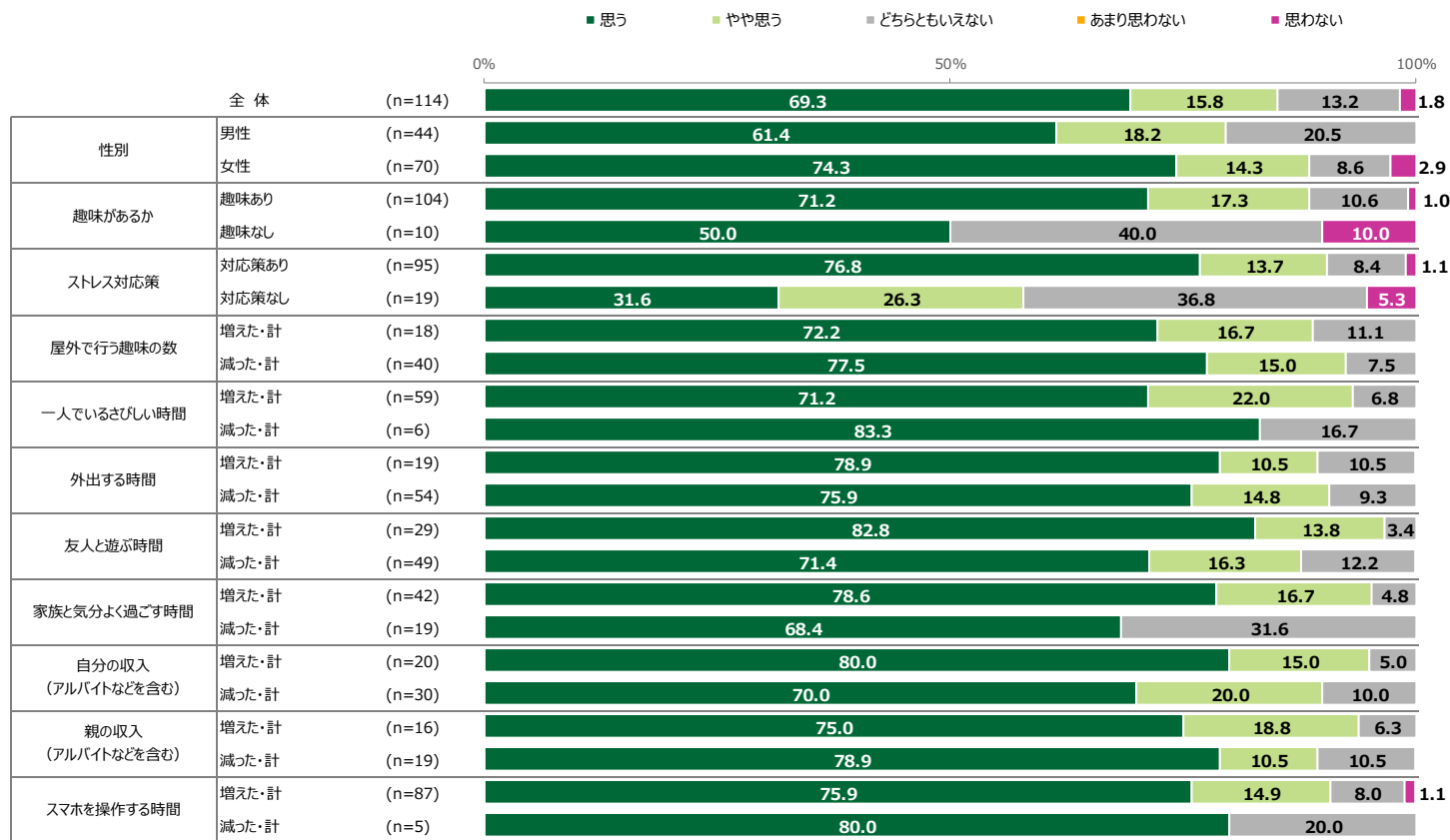
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 11/18

- 恋人については、85.1%の人がストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答。他の項目と比較し、ストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると回答した割合が最も高い。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／恋人

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



思う・計	思わない・計
85.1%	1.8%
79.5%	0.0%
88.6%	2.9%
88.5%	1.0%
50.0%	10.0%
90.5%	1.1%
57.9%	5.3%
88.9%	0.0%
92.5%	0.0%
93.2%	0.0%
83.3%	0.0%
89.5%	0.0%
90.7%	0.0%
96.6%	0.0%
87.8%	0.0%
95.2%	0.0%
68.4%	0.0%
95.0%	0.0%
90.0%	0.0%
93.8%	0.0%
89.5%	0.0%
90.8%	1.1%
80.0%	0.0%

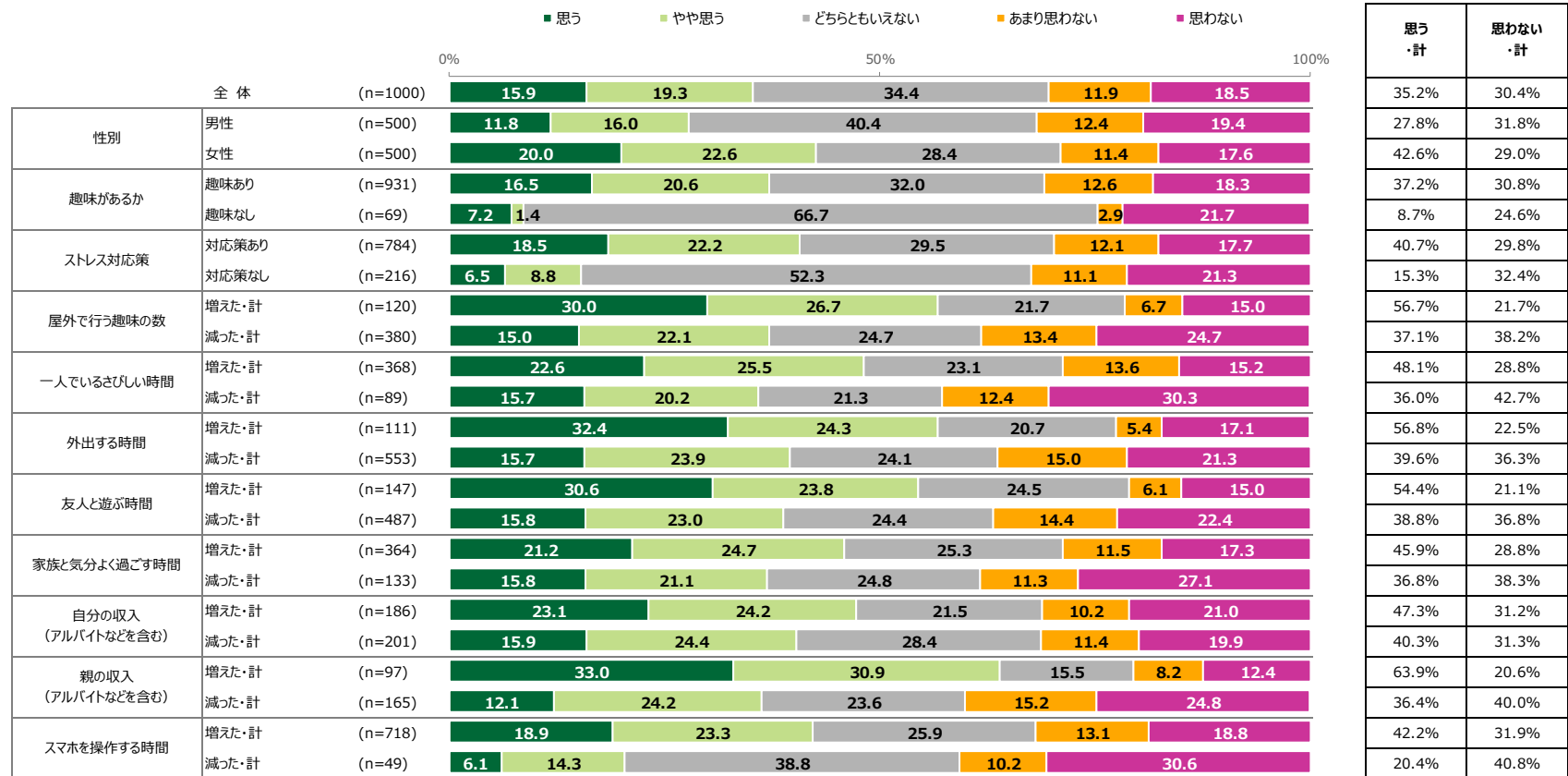
※n=30未満は参考値として扱う

# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 12/18

- SNSなどの登録制インターネットサービスについては、「思う・計」が35.2%。反対に「思わない・計」は30.4%。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／SNSなどの登録制インターネットサービス

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答

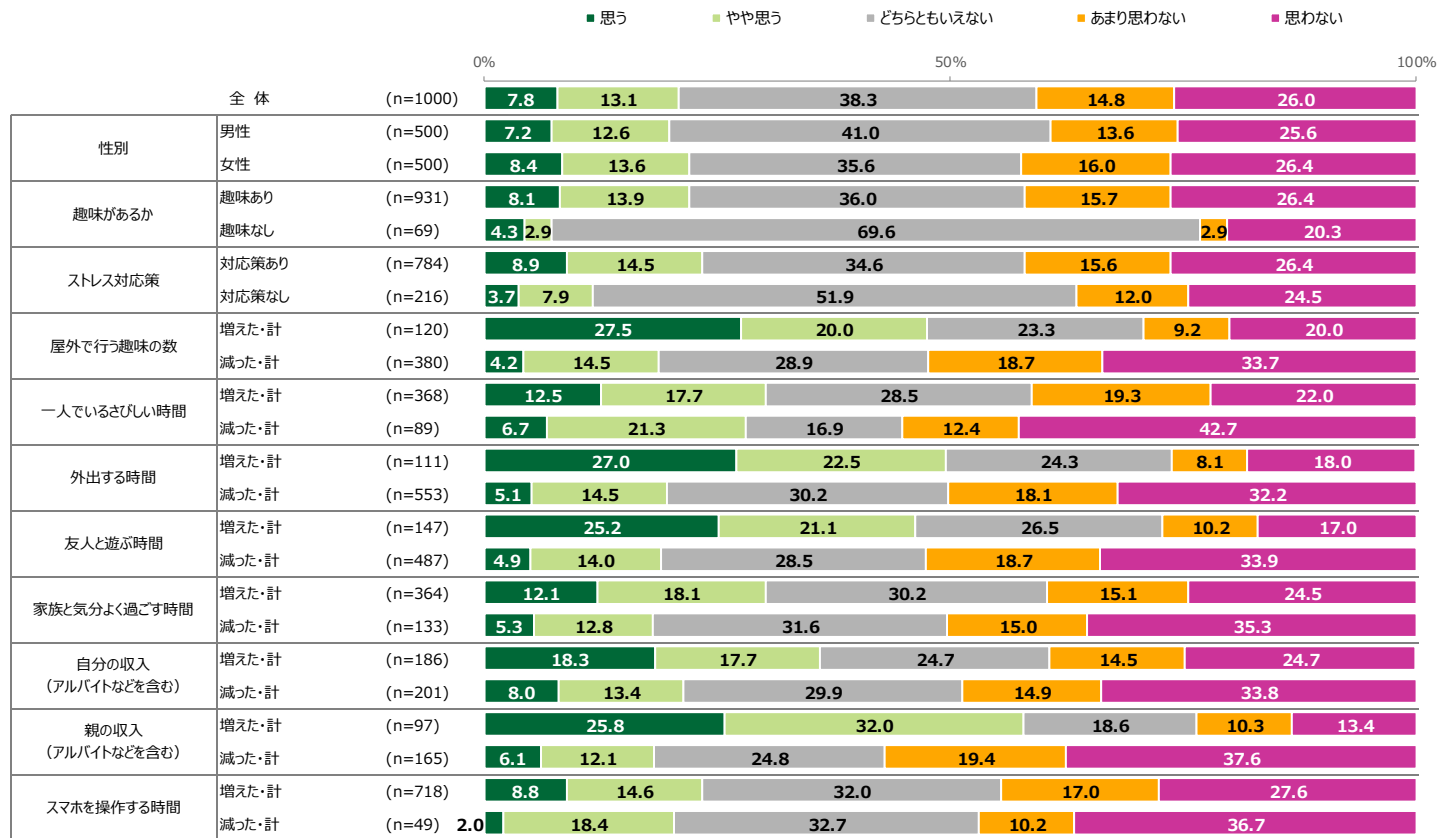


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 13/18

- 掲示板など不特定多数の人が見られるインターネットサイトについては、「思わない・計」が40.8%。「思う・計」（20.9%）を上回る。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／掲示板など不特定多数の人が見られるインターネットサイト

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



思う・計	思わない・計
20.9%	40.8%
19.8%	39.2%
22.0%	42.4%
21.9%	42.1%
7.2%	23.2%
23.5%	42.0%
11.6%	36.6%
47.5%	29.2%
18.7%	52.4%
30.2%	41.3%
28.1%	55.1%
49.5%	26.1%
19.5%	50.3%
46.3%	27.2%
18.9%	52.6%
30.2%	39.6%
18.0%	50.4%
36.0%	39.2%
21.4%	48.8%
57.7%	23.7%
18.2%	57.0%
23.4%	44.6%
20.4%	46.9%



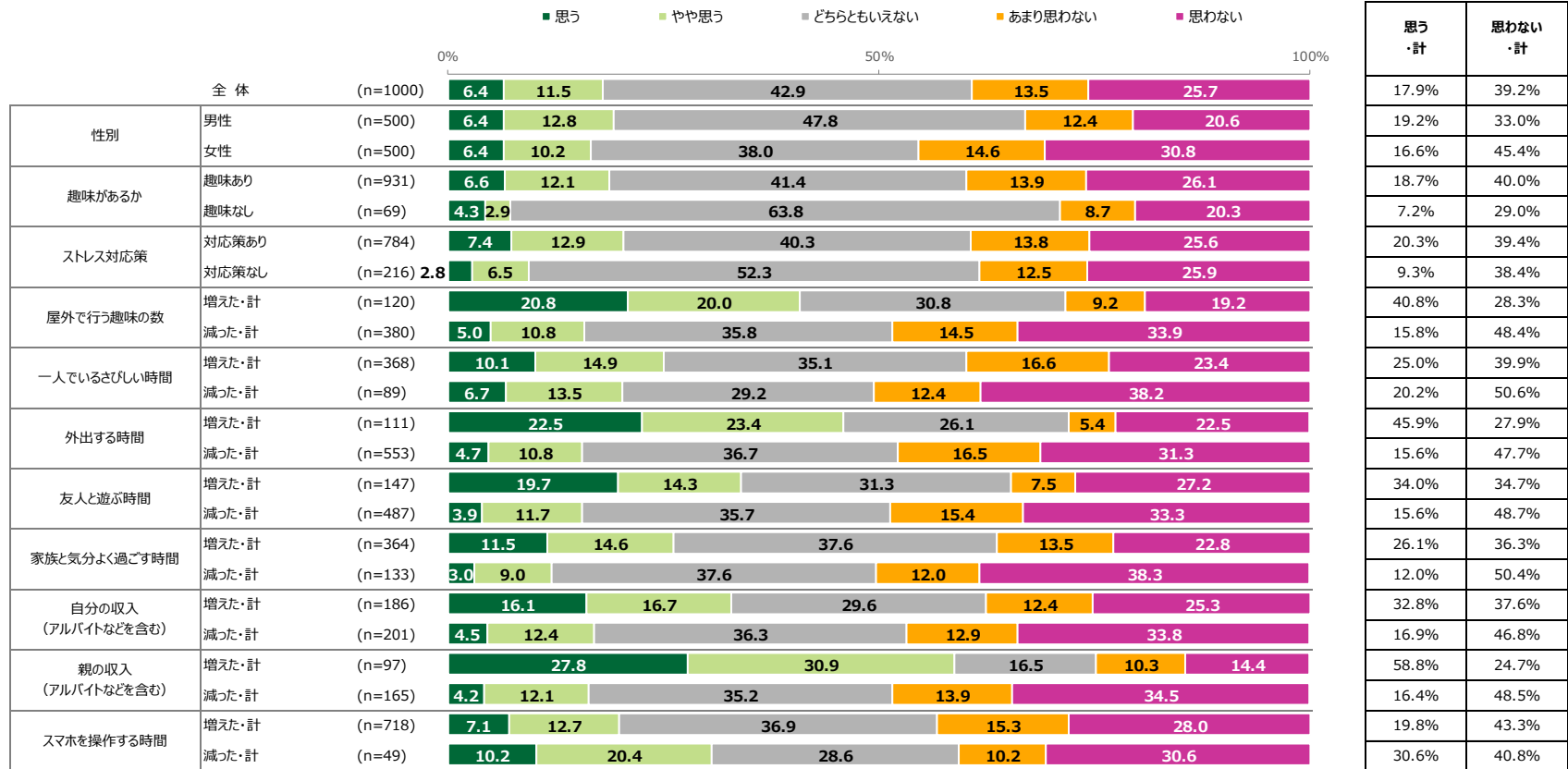


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 15/18

- 民間の相談窓口については、「思わない・計」が39.2%。「思う・計」（17.9%）を上回る。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／民間の相談窓口

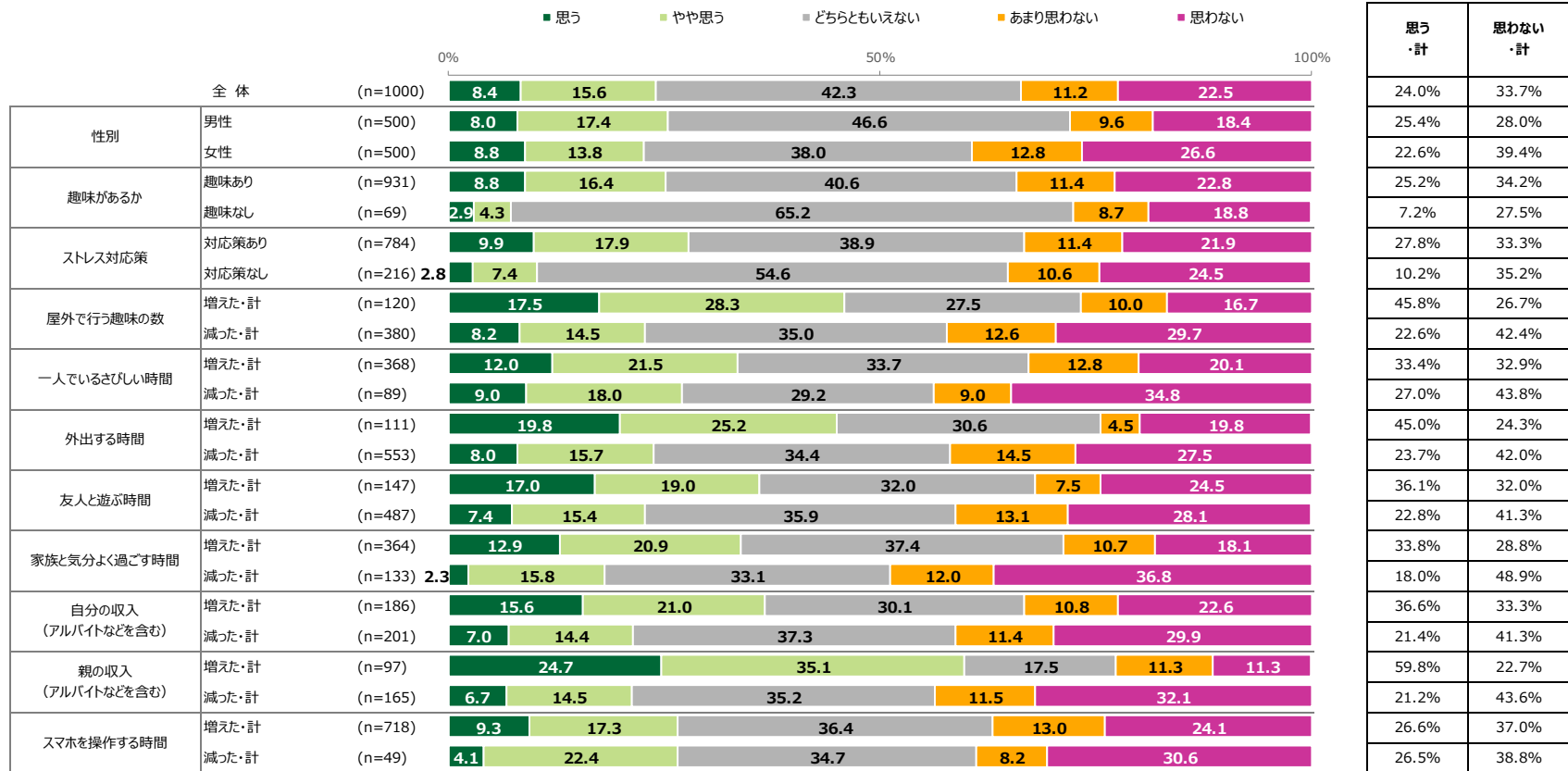
※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 16/18

- 精神科医やカウンセラーなどの専門家については、「思わない・計」が33.7%。「思う・計」（24.0%）を上回る。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／精神科医やカウンセラーなどの専門家  
 ※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答



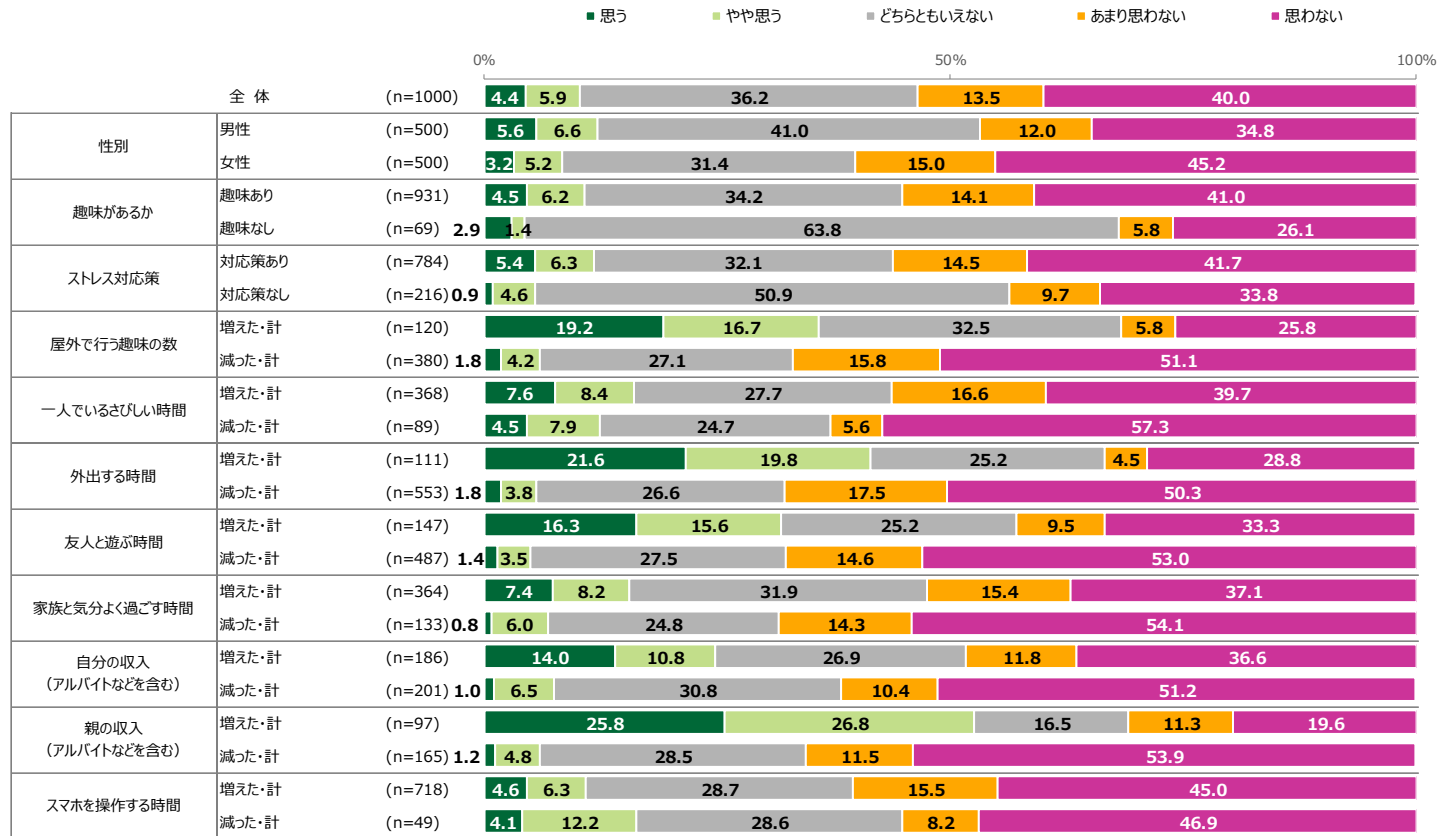


# ストレスの原因を解決したり、気持ちを楽にする助け 18/18

- 宗教関係者については、「思わない・計」が53.5%と、他の項目に比べ「思わない・計」の割合が最も高い。

Q ストレスを感じたとき、以下の人やサービスはストレスの原因を解決したり気持ちを楽にする助けになると、どの程度思いますか。／宗教関係者

※「人」については、身近にそのような人がいる回答者のみ回答

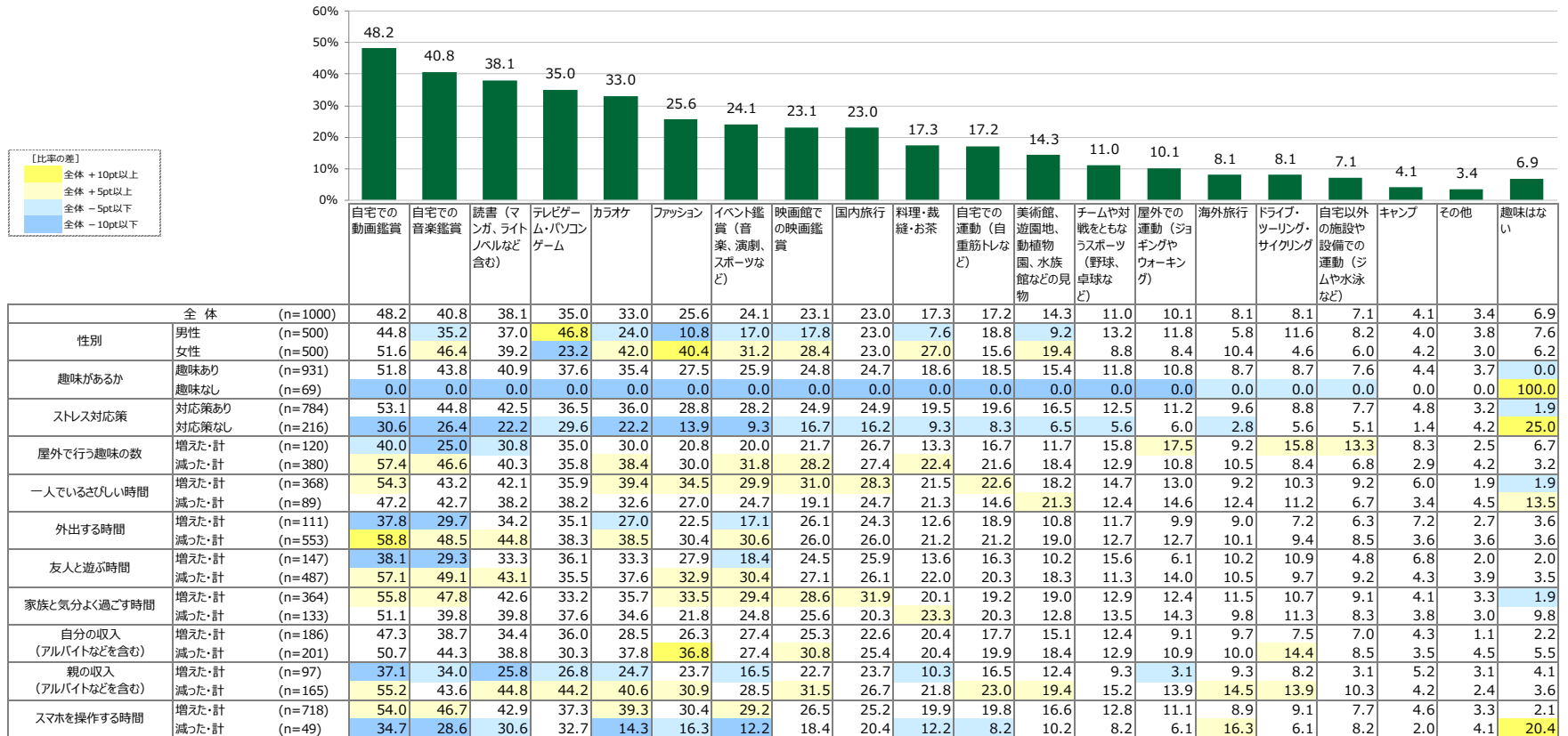


思う・計	思わない・計
10.3%	53.5%
12.2%	46.8%
8.4%	60.2%
10.7%	55.1%
4.3%	31.9%
11.6%	56.3%
5.6%	43.5%
35.8%	31.7%
6.1%	66.8%
16.0%	56.3%
12.4%	62.9%
41.4%	33.3%
5.6%	67.8%
32.0%	42.9%
4.9%	67.6%
15.7%	52.5%
6.8%	68.4%
24.7%	48.4%
7.5%	61.7%
52.6%	30.9%
6.1%	65.5%
10.9%	60.4%
16.3%	55.1%

# 趣味

- 趣味は、「自宅での動画鑑賞」が最も多く、48.2%。ほか、「自宅での音楽鑑賞」（40.8%）、「読書（マンガ、ライトノベルなど含む）」（38.1%）、「テレビゲーム・パソコンゲーム」（35.0%）が上位に挙がる。
- 6.9%の人が「趣味はない」と回答。

Q どのような趣味を持っていますか。（複数回答）

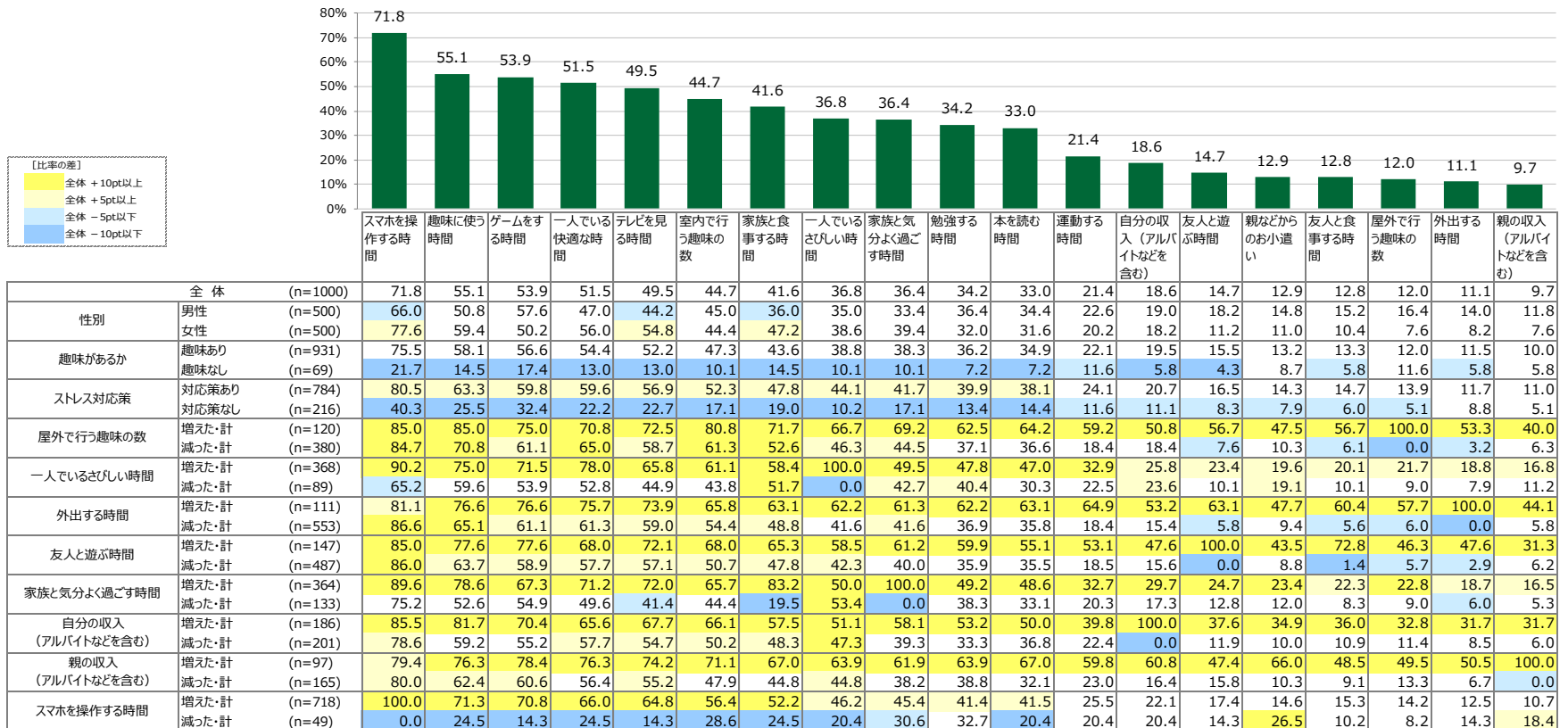


# この1年間で増えたもの

- この1年間で増えたものとしては、「スマホを操作する時間」が最も多く、71.8%の人が「増えた」もしくは「やや増えた」と回答。次いで多いのは「趣味に使う時間」（増えた・計：55.1%）、「ゲームをする時間」（増えた・計 53.9%）、「一人でいる快適な時間」（増えた・計：51.5%）。

Q この1年間をそれより前と比較して、以下の各項目は増えたり減ったりしましたか。（各単一回答）

※スコア「増えた・計」：「増えた」+「やや増えた」

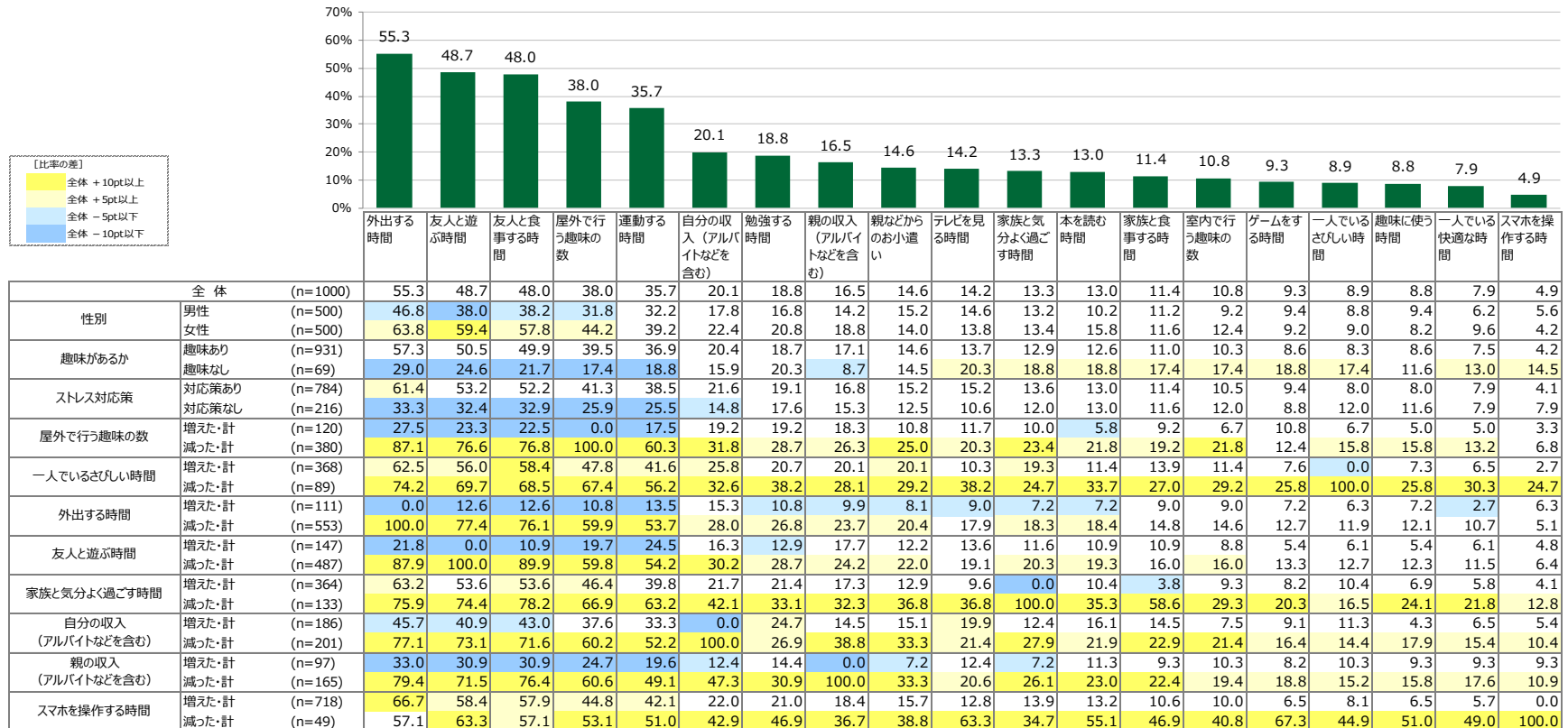


# この1年間で減ったもの

- この1年間で減ったものとしては、「外出する時間」が最も多く、55.3%の人が「減った」もしくは「やや減った」と回答。次いで、「友人と遊ぶ時間」（減った・計：48.7%）、「友人と食事する時間」（減った・計：48.0%）、「屋外で行う趣味の数」（減った・計：38.0%）が上位に挙がる。主に外出したり人と会う時間が減っている。

Q この1年間でそれより前と比較して、以下の各項目は増えたり減ったりしましたか。（各単一回答）

※スコア「減った・計」：「減った」+「やや減った」





# 若者の自殺に対する対策

- 若者の自殺に対する対策としては、「学校や職場などでのストレスへの対処法の啓発」（34.2%）、「コロナ禍を早期に終息させる対策の充実・強化」（32.9%）、「貧困やDVなどコロナ禍での自殺の原因究明」（28.5%）が上位に挙がる。

Q コロナ禍で若者の自殺が増えていると言われています。どのような対策が必要だと考えますか。（複数回答）

